

合掌 寒中お見舞い申し上げます。

五年ぶりに寒修行を始めました。夕方約一時間松戸の町を太鼓を撃ちながらお題目を唱え歩いております。寒入りの初日は大雨、二日目は大風で「雨にも負け風にも負け」てのスタートでしたが、行事の日以外は元気に歩いております。ことのきつかけはある先輩上人との会話からでした。五〇を過ぎてから体力の衰えを感じ、荒行堂を出て以来続いていた毎朝の水行も血圧が上がるからとの家人の言に従い止め、いつしか寒行もやめてしまいました。昨秋の七面山登詣を機にあらためて何か行をやらなければと考えていた矢先のこ

とでした。お互い今更荒行に行く年でもないしそれでは寒行ということでも、正直言つてチヨットしんどいかなと思つていましたが、酔つた席とはいえ、いったん言つた以上、二言はありませぬ。網代笠あじろかさを被り、手甲・脚絆を着け、白衣・居士衣・小五条に身を包み、久しぶりのスタイルに身を引き締めて歩き始めました。松戸駅周辺、途中路傍の石造の観音様に法味言上する三〇年来同じコースです。太鼓には師匠筆、一妙無象・蘇生万象かたち（唱える一遍のお題目には象はないけれども、すべてのものを蘇らせる）と書いてあります。先ず蘇つたのは私の「初心」でした。

千の風

合掌 浅春の候、皆様お元気のこと
と存じます。先日テレビで『千の
風になって』という歌によって、愛
する家族の死から癒された人達が放
映されていました。私のお墓の前
で泣かないでください。そこに私は
いません(略)千の風になって あ
の大きな空を吹きわたっています
原詩はテロで亡くなった24歳の青年
が自分の死後開封するように両親に
託した手紙だそうです。同時多発
テロやマリリン・モンローの追悼会
でも朗読され、欧米で広く語り続け
られていたそうです。新井満さんが
友人の奥さんの追悼文集でこの詩を
知り翻訳し、曲をつけ昨年のNHK

紅白で歌われ広く知られるようにな
りました。秋には光になって 畑
にふりそそぐ 冬はダイヤのように
きらめく雪になる 朝は鳥になって
あなたを目覚めさせる 夜は星にな
つてあなたを見守る と続きます。
愛する人の魂が死んでも何処かに
存在すると漠然と思ってもそれがな
かなか実感できない人達にとつて、
具体的に「風」「光」「雪」「鳥」「星」
という自然のイメージで身近に感ず
るのでしよう。本来『宗教』の役割
なのでしようが、歌の方が直接人々
の心に訴える力が強いようです。敢
えて今風にいうと死者との「共生力」
が名曲によって蘇ったのでしよう。

甘露の産湯

合掌 お花見の季節となりました。皆様お元氣のことと存じます。さて四月といえば花祭りです。お釈迦さまの御誕生を祝して毎年身延の釈迦牟尼堂で御降誕会を行っています。今年はお釈迦さまの産湯のことが気になつて仏典を読み直してみました。というのはいが家にも初孫がやつてきて、てんでこ舞いしておりますが、風呂に入れる温度が微妙なので、専用の温度計表示よりやや低めが彼にとつて丁度良いようです。お釈迦さまも当時のインドの時候に合わせて産湯も適温だったに違いありません。やはりありました。ナンダ龍王は温水をウバナンダ龍王は凉水

を。二つの清浄水を未来の仏陀にそそいだと記述されていました。産湯担当の竜王たちは温・涼よろしく連携プレーしたのであります。今更そんなことを、とお思いでしょうが、長じて修行の後に悟りを開きやがて法華経をお説きになり、私達が久遠の本仏と仰ぐお釈迦さまも温かき血が流れ四季折々寒暖を感じられる体温があることをあらためて確認しておきたかったからです。信仰とお釈迦さまの体温と私達の体温とがお題目を通してスキんシップすることなのかも知れません。日蓮聖人曰く『妙覺の釈尊は我等が血肉なり。因果の功德は骨髓にあらずや』と。

様々な祈り

合掌 薫風緑樹の季節、皆様お元氣のことと存じます。さて先月に引き続き爺馬鹿と言われそうですが、孫の誕生の時のことを書きます。娘が予定より一月も早く産気づいたのはよりによってお通夜の日でした。帰つてから安産の護符を家内に持たせて私はお経をあげました。様々な思いがよぎります。一月も早いのでちやんと育っているのだろうか……。全ては思し召しと泰然自若としていればいいのでしょうか、そこは凡夫の習い祈らざるを得ません。受胎が解つてからは男の子か女の子かなどとお腹と共に家族の思いもいろいろふくらんできますが、イザとなると

とにかく母子共々健康であつてくれればいと切に思うものです。普通の人は子や孫を持つてはじめて親やその人の気持ちがかかるのではないのでしょうか。日頃いろいろな御祈願を頼まれますが、やはりその人の気持ちになつて切実に御宝前に祈る気が如何に大事なのかあらためて感じました。祈るといふ字は祭壇を表す示+斤で、斤は物に斧の刃を近づけた様を描いた象形文字で、すれすれに近づく意を含み近の原字。望むところ**に近づきたい**と神にいのる。『漢字源』 自分の望みに近づきたいと祈るばかりでなく仏様神様の望みに近づきたいと祈りたいものです。

か らいしよ はか
彼の来処を量る

合掌 ひと雨ごとに緑が濃くなり汗ばむ季節となりました。お元氣のこ
とと存じます。さて今月は恒例の
放生会ほうじょうえです。「いのち」を見つめ直す
格好の機会です。私達の「いのち」
は病氣や事故、ストレスなど常に危
険にさらされています。私達が日々
元氣で暮らせるのは仏祖三宝諸天善
神をはじめ多くの人々のおかげだ
と思います。特に放生会では私達の
身体を養う為「いただいで」来た多
くの「いのち」に感謝し、せめての
氣持で僅かではあります水族たち
にお題目の縁を結んで放流します。

どれ程の「いのち」をいただいでき
たのでしょうか。当たり前のことです
が「いのち」そのものにも「歴史」
があり、その「歴史」も同時に食べ
ているんだなとフト気づきました。
因みに我が家の朝食でいうと先ずお
米、新潟で籾もみ芽田植え除草生育収
穫精米輸送店舗購入後洗米炊飯次に
みそ汁大豆アサリ、おかず……紙面
が足りません。禅宗の食法じきほうに「彼
の来処を量る」とあります。食物と
して作った人や獲った人々の労苦に
思いをいたし、口に入るまでのいろ
いろな経過や手数を思い感謝して頂
くということ。やはり胃腸の為
だけになく良く噛んで食べましょう。

私達は食事の度に手を合わせて、い

ただきます」と食べてきました、

「^{つね}毎」にある母心

合掌 梅雨の晴れ間、暑いですがお元気で過ごしのことと存じます。さて私達が日頃読み慣れている自我偈の経文に「常」という字は幾つあるか御存じでしょうか。又「つね」と読む漢字に「常」と「毎」があることにお気づきでしょうか。自我偈は法華経如来寿量品でお釈迦さまが自ら久遠の本仏であることを明かされた詩に約された部分ですが、「現在お釈迦さまはどうされているのでしょうか」という問に対する答えとしても考えられます。お釈迦さまは滅することなく「常」に私達衆生と同じ娑婆世界に住し、「常」に法を説いて私達を教化しています。いわば釈

尊の衆生に対する働きかけの時間の永續性を表しているのです。衆生からの「常」を除くと八回出てきます。さて「お釈迦さまは私達に対してどんなお気持ちでいられるのでしょうか」という問に対する答えとして「つね」だけは「毎」が使われています。「毎」という字の中に「母」がいます。ある電話会社の公告に「僕が母のことを考えている時間よりも、母が僕のことを考えている時間の方がきつと長いと思う」とありました。この母心のようにお釈迦さまは「毎」に私達を仏にしようと心を砕かれています。「常」と「毎」は過去世・現世・来世―三世に亘るのです。

大迦葉と老婆

合掌 盛夏の季節、お元氣でお過ごしのことと存じます お釈迦さまの弟子に大迦葉という方がいました。富裕なバラモンの家に生まれましたが出家して小欲知足で衣食住にこだわらず「頭陀行第一」と言われました。その大迦葉尊者は乞食托鉢するの富豪の家に行かず常に貧しい家を選びました。貧しい人達こそ五欲の楽しみを受けず、法を聞いて喜ぶこともなく、布施をして功德を積む機会もないからです ある時、今日でいうホームレスのお婆さんが居ました。病氣でした。着る物もなく近くの長者の使用人が捨てに来る米汁で露命をつないでいました。大迦

葉は老婆を訪れ言いました。「あなたの難儀を救う為、食を乞いに来ました」老婆は氣高い沙門の訪れに感謝しつつ、泣きながら布施する気持はあつても何もないと答えました 更に大迦葉曰く「老婆よ布施の意ある者は貧乏ではない。慚愧ざんきの念ある者は法衣を付けている人である。あなたはこの二つを既に立派に持つている」喜んだ老婆は残った米汁を大迦葉に捧げました。大迦葉は押し戴き飲み干しました。躍り上がるように喜んだ老婆は数日後亡くなりその功德により忉利天に生まれました 日頃「お布施」を頂いている身としては改めて深く考えさせられる話です。

合掌 朝夕は涼風が立ちはじめ、秋の訪れを感じます。皆様お元気で過ごしのことと存じます。さて今月は十七日が釈迦牟尼堂の隣、本妙庵のお祭で二回身延に行くことになりそうです。本妙庵を開いた本妙律師は江戸青山の生まれで幼少より向学の念篤く最初は儒学を学び、日蓮聖人の教えにふれてからは心秘かに出家を志していました。しかし貧乏で年老いた両親を抱え、ままなりませんでした。家計を助ける為にピラを書いて配っていた時、大工の半七と運命的な出会いをします。半七は法華の半七と言われるくらい熱心な法華信者でした。少年の字に感嘆した半七は少年の事情や志を聞くや益々感激し、少年に代わって両親の面倒を見るからお坊さんになりなさい、と云います。少年は後に本妙律師と呼ばれ半七の期待通り行学兼備の立派なお坊さんになり多くの門人を輩出しました。律師と呼ばれるくらい当時の乱れたお坊さんの生活態度を嘆きつつ、御自身は「本化律」を守り清らかに生きられました。立派なお坊さんには立派な外護者がいるものですね。最初に教わった儒学の師・朝田薩庵も後に本妙律師の弟子になります。これも又スゴイ事です。

座敷わらし

合掌 彼岸を過ぎても日中は暑い日が
続いておりますが、皆様お元氣のこ
とと存じます さてNHK朝ドラ『ど
んど晴れ』もいよいよ最終週に入っ
てきました。都会育ちのヒロインが
岩手の伝統・格式ある老舗旅館の若
女将として成長していく姿を描いた
ものです。接客は「来者如帰（くる
ものかえるがごとし）」をモットーに
昨今忘れ去られたきめ細かい「おも
てなしの心」を教えてください。又
様々な経営難を家族が心を一つにし
て乗り切っていく姿にいろいろ考え
させられます タイトルの「どんど
晴れ」は、民話の最後に使われ「め
でたしめでたし」の意味でドラマも
「どんど晴れ」で終わるのでしょ
うが、私にはヒロインがダブってイメ
ージされる「座敷わらし」のことが
気になりました 民話の世界では家
が栄える福の神として描かれていま
すが、その由来には東北の悲しい歴
史があります。大飢饉に襲われた時、
沢山の子供達が「間引き」され、そ
の供養を受ける精霊のようです。又
産児制限の為本来産めない子を人知
れず屋敷の中で育てていた子がたま
たま人目に触れた場合もあったよう
です。いずれにしても「座敷わらし」
は供養すべき水子童男童女なのです。

辻占（つじうら）

合掌 紅葉の季節になりました。お元氣のことと存じます。さて皆さん「辻占」って御存じですか。私はNHK連続ドラマ「ちりとてちん」で初めてこの言葉を知りました。上方落語の「辻占茶屋」で惚れた遊女の真意を図りかねた男が、その時その時、見たり聞いたりしたこと占うのです。元々の辻占は、夕方に辻（交叉点）に立って、通りすがりの人々が話す言葉の内容を元に占うもので、^{はしうら}因みに橋のたもとに立って占うのは橋占と言うそうです。辻は人だけでなく神も通る場所であり、橋は異界との境をなすと考えられ、偶然そこを通った人々の言葉を、神の託宣と考へ判断の材料とするのです。たしかにいろいろ迷ったり悩んだりしている時、たまたま耳にしたことや眼にしたことが解決のヒントになることがあります。愚かな凡夫の為に仏様や神様はいつも心を砕かれ守ったり導いているはずですが、私達に声なき声を聞く耳が無い為、人を介してアドバイスして下されるのでしょうか。その様な人を「変化の人」というのです。考えようによっては私達の周りは仏界の情報で充満しています。お題目によってそれを引き出すことが出来るのでないでしょうか。

夫婦の道

合掌 落ち葉が舞い、吹く風が身に
しみるようになりました。皆様お元
気のことと存じます。さて先日先輩
の娘さんの結婚披露宴に招かれまし
た。新婦の父親としては私の方が先
輩であり、娘さんは産まれた時から
知っているので感慨も一入ひっしゅうでした
時計メーカーのシチズンが結婚三〇
年の夫婦に結婚生活を漢字一文字で
表すアンケートを行いました。夫婦
共二位以下を大きく引き離し「真」
が一位。結婚三〇周年を「真珠婚」
と言うせいもあるのでしょうか。「真
心をこめて接してきたから」、「包み
隠さず話し合うようにしています」

といった理由だそうです。二位以
下はそれぞれ違い、夫「和」「愛」「絆」
「還」。妻「忍」「絆」「和」「愛」と
続きます。夫婦とも「和」「愛」「絆」
は解りませんが、妻の二位「忍」は気
になります。三〇年間の生活が妻だ
けの「忍」なのか、夫婦とも「忍」
と妻だけが考えていたのか。それと
夫の五位「還」とは一体何なのでし
ょう。因みに我が家で妻に聞いたと
ころ「支」と答えました。小生は同
じ「し」でも「志」と考えていまし
た。同じ「志」を「支」えあつてき
ました。そうしてきたというより、そう
したかったという感は否めませんが。

第二の誕生日

合掌 梅もほころびはじめ、もうすぐ春。皆様お元氣ですか さて今月の十六日は日蓮聖人降誕会です。生年を宗門では貞応元年と言われているのですが、その年の四月十三日が改元ですので正確に言くと承久四年です。壬午みずのえうまの年に生まれ弘安五年の壬午の年に亡くなられました。還暦の六十一歳の年です。私事ながら今年還暦を迎える小生にとつても感慨深いものがあります ついでに日蓮聖人の御生涯に恐れながら自分の人生を重ねる訳ではありませんが、二月十六日は私にとつて第二の誕生日と言うべき出家得度の日でもあり

ます あるコラムに曰く「人には最低二度の誕生日があり、一つは肉体の誕生日、二つ目は志（使命感）に目覚めた誕生日」と。最初の誕生日からは還暦ですが、第二の誕生日からはまだ三十五年目です。お坊さんの世界では「法臘ほうろう」と言います 誕生の「誕」という字は隠れていたものが外に現れるというのが原意で、お腹の赤ちゃんが外に出ると「誕生」となるわけです。私達の中にも本来の本当の自分が隠れていて、その呼名は色々ありますが、法華経では「地涌ちゆの菩薩」と言います。さてあなたの第二の誕生日はいつですか。

折り合い（おりあい）

合掌 残寒なお厳しき折、いかがお
過ぎですか。そろそろ月例八ガキ
を…と思ひながら朝勤をしていまし
たらフト「折り合い」という言葉が
浮かびました。今更と思いつつ「広
辞苑」をひきますと、「おりあうこと。
妥協」とでていました。「折り合いが
悪い」とか「折り合いがつく」とよ
く使われますが、自分も相手もお互
いが「折れ合つて」合意点に辿り着
く場合はまだ良いにしろ、問題は相
手がガンとして譲らず自分が折れて
「折り合い」を付けなければならな
い場合です。実際生きているとこつ
ちから折れなければ「折り合い」が
つかない事が多いのではないでしょ
うか。競馬用語で「折り合い」と
はレースで、競走馬が騎手の制御・
命令に従うかどうかを指す言葉だそ
うです。所謂「人馬一体」とは「折
り合い」がついている状態をさすの
でしょう。騎手を私達の「心」に「馬」
を「体」に譬えると「心」と「体」
の「折り合い」がつかないと病気に
なり、その「心」も対人関係で「折
り合い」がついてない場合が多いよ
うです。悲しい現実、辛い状況を先
ずじっくり見据えて素直に受け入れ
自分を折、「折り合い」をつける。そ
れは妥協ではなく大いなる肯定です。

卒と断

合掌 春麗の候、いかがお過ごしですか 四月は新しいスタートの月でもあります。スタートする前に様々な卒業があります。卑近な例で恐縮ですが、一歳を過ぎた孫は離乳食をはじめいつ母乳を卒業するかの時期になっていきます。乳児から幼児になるわけですが、その移行にも母親の一方的な「断乳」か、赤ちゃん主体の「卒乳」かがあるようです。お乳やミルクにさよならするにしてもある日突然するのか十分味わってするのか違ってくるのでしょうか。やはり離乳食と平行しながら「節乳」し「卒乳」から「離乳」そして自立への道

：が望ましいのでしょうか。この「卒」と「断」はいろいろいる使えそうです。タバコや酒を程よく嗜んでいる人はともかく、ドクターストップの人は「節煙」「節酒」は元の木阿弥に陥り勝ちなのでやはり一大決心で「断煙」「断酒」し気持的には十分味わったので「卒煙」「卒酒」と考える。かく言う私は一生掛かって酒は味わい尽くせないと思つてはいますが、それにしても最近おじさんみたいなオバさんやおばさんみたいなオジさんが目につきます。それは「断性」なのでしょうか。「卒性」なのでしょうか。「離性」なのでしょうか。

ゴールデンウィーク

合掌 木々の緑が目にもあざやかな季節となりました。世に言う「ゴールデンウィーク」、どの様に過ごす予定ですか。さて「ゴールデンウィーク」を以前は「飛石連休」と言っていました。インタナーネット上の百科事典『ウィキペディア』によると「ゴールデンウィーク」の名称は、映画会社の大映が正月やお盆並に興行成績が良かった期間として1951年に名付け、次第に他の業界にも広まったものだそうです。祝日法の改正で休日も増え、NHKや一部の新聞などは映画業界発の用語を嫌い、現在は「大型連休」と言っているようです。「ゴールデンウィーク」の名称

が用いられ始めた時代は、映画や近場のデパートでの買い物、周辺の行楽地への日帰り旅行などが、一般的な過ごし方でしたが、豊になったのが最近はこの期間中泊りがけの旅行や帰省が増え、ついには海外旅行さえ一般的になりました。続けて休める勤め人にとっては「ゴールデンウィーク」なのでありましょう。旅行にも行けないひがみではありませんが、時間だけは拘束度が低い小生にとつて毎週「ゴールデンウィーク」でありたいものです。問題は何をやるかです。67歳でオリンピックに出場する「ゴールデンエイジ(最盛期)」の人もいます。シルバーの星です。

住民基本台帳カード

合掌 軽暑の候、皆様お変わりありませんか ついに住民基本台帳カードを取得しました。個人情報保護の観点から反対する人もいますが、行政手続きが簡略化できる事と公的身分証明書としても使えるメリットがあります。運転免許証がない私は種々の手続きをする時、私が「町行象」本人であることを証明するのが結構面倒くさいのです。健康保険証や公共機関領収書等の提示を求められるのです。友人知人は暗黙のうちに私が町行象であること理解しています。が、第三者にとって私が何者であるか解らないのは当たり前の事です。まして「なりすまし」の犯罪を予防

する為にも公共機関が本人確認を厳重に行うのは当然の事です。写真入りなのでこれからは私は昭和23年生まれの子の松戸の住民としてどこでもカード一枚で町行象であることが証明されるのです。さて私達の信仰の世界で住基カードを考えたらどうなるでしょう。「あなたはどの仏様や神様の世界の住民なのですか？」日蓮聖人の教えによれば私達の住む世界は久遠の本仏お釈迦さまの宰領する世界であり私達はその住民なのです。他国の仏や神の「なりすまし」住民になつてはいけません。お題目を唱える事は本仏釈尊の「仏国土住民基本台帳カード」取得の第一要件です。

「グッバイ」と「ブッバイ」

合掌 日を追うことに暑気もつのも、じつとりと汗ばむ季節となりました。いかがお過ごしですか さて先日テレビの歌番組で売上一位の曲として、青山テルマの「そばにいるね」が紹介されています。今はやりのラップと軽快なメロディにのせて、離れて暮らしているけど心はいつも「そばにいるね」という恋人同士の気持ちが切なく歌われています。一度「さようなら」をした後ホントの自分の気持ちに気付いた様な詩です。(若い時はよくある事です) 「さようなら」はもともと「そうならねばならぬのなら」という意味の接続詞で「あなたと私が別れなければならぬなら」

という「別れ」を宿命的なものとしてなれば諦観めいた意味合いが込められています。永遠の別れを覚悟して使う場合は別として、普通は「また会おうね」と言う意味も込められているのではないのでしょうか 因みに英語の「グッバイ」は God be with you の短縮形で「神があなたと共にいますように」という意味だそうです。さすが一神教の文化です。別れの言葉にも神が「そばにいるように」と相手への祈りがあります 仏教徒としては「ブッダバイ(仏陀と共に)」と言いたいところですが、略して「ブッバイ」どうですか。いつも仏陀が「そばにいるよ」確認する言葉です。

末世への遺言

合掌 毎日、蒸し風呂のような暑さですが、いかがお過ごしですか。さて日蓮宗推薦映画『明日への遺言』が上映されています。昭和二十年名古屋を無差別爆撃した米軍兵士を処刑し、B級戦犯として絞首刑になった岡田資中將を描いたものです。法華經の信仰に裏打ちされた法廷での主張やスガモプリズン房舎での若者への言葉は今日平和裡に生きる私達にとって深く考えなければならぬ遺言となっています。リーダーたる者の責任の取り方。人には命を賭しても守るべきものがあるということと等、今日の日本人に欠けているものです。遺言とは死後のために物事を言い遺すことですが、普通財産相続が争族にならないよう物心両方にわたる財産の分配・解釈のトラブル未然防止の役割があります。さてそこで法華經をお釈迦さまの遺言と考へたらどうなるでしょう。お釈迦さまが残されたものといえば形あるものとしては仏舍利がありますが、なんと云っても全人類に残された「教え」という財産があります。仏舍利は八分され、「教え」は様々に解釈されました。親が残した財産を子供達が争族にならないよう遺言するように、お釈迦さまは末世を見越して法華經を残しました。その遺言執行人として日蓮聖人を遣わされたのです。

北 枕

合掌 このところ豪雨や晴れ間の蒸し暑さで残暑が厳しいですが、皆様いかがお過ごしでしょうか さてドイツとチェコの研究グループが興味ある論文を発表しました。世界各地の放牧中のウシを調べたら多くが南北を向いていたそうです。また野生のシカについて、雪に残された「寝床」の跡などを調べた結果も同じで、多くが頭を北に向けていたそうです。渡り鳥やコウモリが地磁気を感じすることは知られています。ウシやシカもそうなのです。と言う事は私達人間にも本来南北の地磁気を感じする能力が備わっているはず。昼間動き回っている時はいちいち

にしてもらえませんが、寝る時は北を枕にして磁力に逆らわずに寝れば血行も良くなり体に良いはず。し「頭寒足熱」と言われる所以です。しかし昔から「北枕」は「死人の枕」と呼ばれ忌み嫌われてきました。実は自然の理にかなう寝方なのです。風水的に言っても寝ている間、北の「水の気」を頭から吸収し「財運が上がりお金が貯まる」といわれる縁起のいい寝方なのだそうです。まして法華経を説かれたお釈迦さまが北に位置した事から造られた御宝前や仏壇を頭にして寝ればどれ程エネルギーを頂けるか図り知れませんか。さて、あなたは北枕で寝ていますか。

猿の子流・猫の子流

合掌 秋気ようやく肌にしむ候、皆 親にくわえられるままに身を全て任
様いかがお過ごしでしょうか さて せているように最高神に全てを委ね
宗教月刊誌『大法輪』に「ヒンドウ の子流」は自力「猫の子流」は他力
一教と仏教の違い」というタイトル とでも言いうるのでしょうか 「ヒ
で「信」について書いてありました ンドウ一教と仏教の違い」というこ
宮元啓一國學院大学教授によると となので敢えて違いを際立たせてい
仏教の信は「理性的に納得したうえ ますが、実際法華経を信仰している
での信頼」を意味し、ヒンドウ一教 ものとしては当然「理性的に納得し
の信は家族愛を原意とする「理屈抜 たうえでの信頼」もあり、主師親の
き、無条件の情愛を伴った信愛」と 三徳本仏お釈迦さまを「恋慕渴仰」
いうことだそうです その「信愛」 する「信愛」もあります いわば「猿
を中心とした学派に「猿の子流」と の子流」の自助努力も「猫の子流」
「猫の子流」があり、「猿の子流」と の全てお任せも両方ある、親子が向
は猿の子が親にすっかりしがみつい かい合ってすっかり抱き合っている
ているように最高神の意に叶うよう 「人の子流」とでもいいでしょうか。
努力精進し、「猫の子流」は猫の子が

合掌 晩秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか さて来年五月二十一日より裁判員制度が施行され、国民も刑事裁判に参加しなければならなくなりません。裁判官と共に、証拠調べを行い、有罪か無罪かの判断と、有罪の場合犯した罪の重さを天秤にかけそれにふさわしい刑罰を科さなければならぬのです 国家の名のもとに死刑や懲役という身体的拘束や、罰金・財産没収という物質的な制裁が行われるのです 社会的には判決通り罰金を払ったり刑期を勤め上げれば罪は償われ、「贖罪」となるのでしようが、仏教的にはそれだけで「滅罪」となるのでしようか。

やはり深い罪の自覚と二度と犯さない強い決意となんと云つても心からの懺悔がなければなりません 「贖罪」とは犠牲や代償を捧げることによつて罪過を贖うことで、キリスト教の教義が代表するように自らでは贖うことのできない人間の罪を、神の子であり、人となつたイエスが十字架の死によつて代わりに贖つたというのです。それを信じれば私達の罪は帳消しになるのでしょうか 全知全能なる一神教の教えはそれでよいのでしようが、因縁因果を説き究極の自己責任を追及する仏教はそうはいきません。自らの罪は自らの懺悔によつて消滅するのです。

若さへの3K

合掌 年の瀬の気ぜわしい季節となりましたが皆様くれぐれも健康に留意して下さい さて朝食の後テレビの「はなまるマーケット」を観ていたら、俳優の宇津井健さんがゲストで出ていました。今年喜寿を迎え国民的長寿番組? 「渡る世間は鬼ばかり」に元気で出演されているようです。役になりきる為の工夫や二年前に亡くなられた奥さんの為にいろいろな十字架を造られた話などナルホドと相槌を打ちながら聞き入っていました 若さを保つ秘訣の問に先ず「五十代六十代七十代で潔く止めたこと」として五十代で煙草、六十代で酒、七十代で乗馬・車とのことでした。一日六十本のヘビースモーカーが妻のひと言やノミニケーション必須の業界で酒をピタツと止めたことは余程の決意がなければ出来ないことでしょう 酒煙草は本人の健康問題ですが、七十代の乗馬はケガをして番組の他のスタッフに迷惑をかけるにはいけないとのこと。さすがです。浮き沈みの激しい業界で生きぬいてきただけに重みがあります。更に「ヒップポップ」を二十代の人に習っているとのこと。月謝を払って若い人を先生と仰ぐ必要性を説いていました いろいろな分野への「好奇心」飽くなき「向上心」やり抜く「克己心」この3K見習いたいものです。

衆生の縁

合掌 梅のつばみもほころび、春がそこまでやってきました。皆様如何お過ごしですか さて毎朝NHKドラマ「だんだん」を楽しみに見えます。「袖振り合うも多生の縁」と古からの伝えどおりこの世で出逢う人とはすべて見えぬ系えにしでつながつてる と始まるテーマ曲「縁の糸」はCDまで買いました 離ればなれで育った双子の姉妹が「縁の糸」でたぐり寄せられるようにして出会い、双子の歌手としてデビューしますがやがてそれぞれの道に進んでいきます。一人はソロ歌手としてもう一人は介護福祉士を目指します。今

後気になるところです このテーマ曲中の「袖振り合うも多生の縁」にはいろいろ言い回しがあり「袖擦り合う」「袖触れあう」とも言い、又「多生」は「他生」とも書きます。チヨットした出会いも過去世の因縁によるという仏教的なことわざなので小生としては「袖触れ合うも多生の縁」と使いたいところです 「衆生」という言葉の意味の一つに何回も生まれ変わる「多く生まれる」というのがあります。「他生」ではなく「多生」なのです。過去世の一回こっきりでなく何回かの縁によって出会う「袖振り合うも衆生の縁」なのです。

合掌 早春の候、お元氣でお過ごしのことと存じます。先月は前半は荒行僧帰山式、後半は身延釈迦牟尼堂行学道場建立の為の諸手続・地鎮祭の準備等で忙しく今月の案内が遅れてしまいました。思えば釈迦牟尼堂建立から三十五年、日高上人が遷化されて三十年、私が釈迦牟尼堂の管理を任されてから十八年経ちますが、やっとここまで辿り着いたか、という思いです。日高上人が釈迦牟尼堂台地に描いた壮大なる理想に賛同された地元の方々から取得された土地に最初はとにかく木を植えようと二百数十本の苗木を植え続けました。

年二回の行事・花祭りと成道会はともかくとしてあとは正直言つて毎月一週間ぐらい参籠し草刈りなどで護持するのに精一杯でした。最近青年僧も隣の本妙庵に起居し一緒に修行するようになり、そろそろ自前の宿泊施設の必要性を痛感していたところ月に一回ですが、身延山大学の講師も依頼され、いよいよ機運が熟したかと決心した次第です。幸いにして次から次へと変化の人が現れ手助けしてくれています。日高上人が元氣だった頃熱く語られた本尊論が再現できる道場として皆様に大いに活用して頂きたいと思えます。乞来山

バイオトイレ

合掌 花冷えの続くこの頃ですが、
いかがお過ごしですか さて身延の
行学道場の建築も最初法務局の地図
と実状が違う為、建てる場所の名義
や地目が一致せず、すったもんだや
つたあげくやつと確認申請までごぎ
つきました 水道も無いところなの
で最初は雨水をためて水洗式のトイ
レをと考えましたが、行事の時は大
勢さん見えるし雨水では安定した水
洗用の水が供給確保できません。そ
こで何か良い方法はないかとインタ
ーネットで探していたらバイオトイ
レにめぐり会いました 水を使わな
い、臭いもしない、使うのは木のオ
ガクスだけで人の腸に存在する常在

菌の働きにより醗酵させて有機肥料
としても使えるというのです 国土
交通省新技術登録製品で日本環境経
営賞など数々受賞歴があり、地方自
治体、自衛隊、公園、富士山頂など
に導入され実績もあり早速国土交通
省の展示場まで行き、決めました
いわゆる環境にも優しい、市民農園
を目指す21世紀型のトイレとしてま
さしく注目すべきものだと思います
しかし畑の肥料として使うので抗
生物質や常時薬を飲んでいる人はチ
ョットご遠慮いただき釈迦牟尼堂の
汲み取り式を使って下さい。循環型
道場を目指す「**分便**」運動にもよろ
しく御協力の程お願い申し上げます。

『第二の矢』

合掌 木々の緑が目にもあざやかな季節となりました。お元気でお過ごしのことと存じます。さて今年もおかげさまで身延釈迦牟尼堂の花祭りも54名の参加のもと無事に行われました。3年(?)ぶりに参加された方もいました。医者から病名を告げられ悲觀的になりすっかり自信をなくしていたようです。最近の医者は責任逃れの意味からも悪い状況を想定して説明するので本人も落ち込んだようです。しかし加齢現象の一つだと思い直したらだいぶ気持ちも吹っ切れたようです。その方の話を聞いていてお釈迦さまの『第二の矢』の譬えを思い出しました。人生に生老

病死をはじめ様々な苦しみはつきものでそれが「第一の矢」となつて私達を突き刺します。問題はそのことをクヨクヨ考え二次的に苦しみが増大することです。これを『第二の矢』というのです。単なる精神的な悩みが身体に影響して何でもなかつた身体を自分で病気にすることもありません。いわゆる「氣の病」が身体をむしばむのです。信仰とは先ずこの『第一の矢』を取り敢えず受け入れ『第二の矢』は受けない心の営みなのでしよう。『大難は小難に、小難は無難に…』と日々祈り『苦をば苦と悟り、樂をば樂と開き、苦樂ともに思ひあわせて南無妙法蓮華經…』です。

五重塔

合掌　ひと雨ごとに木々の緑が濃くなつてまいりました。皆様お変わり無くお過ごしのことと存じます　先月下旬から身延山大学講義、行学道場上棟式、恩師祥月忌法要、松戸に帰り我家の法事等あわただしく月例便りもすっかり遅くなつてしましました　さて身延山久遠寺の五重塔が百三十年ぶりに復元建立され落慶法要も先月営まれました　五重塔はもともと古代インドのお釈迦さまの遺骨（舍利）をお祀りしたストウーパー（起源をもつもので、饅頭形（半球形）であつたものが、中国に伝えられ、楼阁建築の形式を取り入れて高層化し、朝鮮半島を経て日本へ伝え

られ現在の形になつたものです　舍利とは梵語シャリーラの音訳で本義は「肉体」を意味するそうです。単なる遺骨だけでなく仏塔をお釈迦さまそのものとして、拜んできたのです。ですから日本最初の本格的寺院飛鳥寺や四天王寺・法隆寺にしても伽藍の中心もしくは伽藍配置の中心線上に位置し礼拝されていたのです　まして生身の釈尊を久遠の本仏と仰ぐ法華経を信ずる日蓮門下にとつて礼拝給仕しなければなりません。単なる七堂伽藍の輪奐の美を供する建造物であつてはなりません。日蓮聖人の御真骨無き御廟所といい、「聖骨」をめぐつて身延山何か変ですね。

五十回忌

合掌 一雨ごとに暑気もつのも、じつとりと汗ばむ季節となりました。皆様いかがお過ごしですか。さて先日当道場で五十回忌の法要を行いました。昨年も父親の五十回忌を行い、今年も御施主さんにとって曾祖母にあたる方の法要でした。うつつすらと記憶があるそうです。折しも私の孫が来ていたので我が身に照らし合わせてみると、この孫の子供が私の五十回忌の法要をしてくれることになるのかと思うと、とても感慨深いものがありました。両方とも三十三回忌までは親戚の方を呼んで行いましたが、その後の年忌法要は一人で行っているとのことでした。親戚の方を二年続けて呼ぶ気兼ねは無いにしても、わざわざ仕事を休んで御正當の命日に営んだのです。父親の時もそうでした。ふつう二年連続して年忌が続けば後の方を繰り上げて一緒にしがちです。浅草の浅間神社の植木市も昔は六月三十日と七月一日でしたが、最近は集客の為か土日になり、縁日とは神様に因んで決められているはずなのに人間の都合に合わせてなんてと嘆いていました。あらためて日にちは大事だなと思いました。昨今寺院離れが進む中、仏事も簡略化し、ついこちら側の都合に合わせて営みがちですが結局自分の首を絞めることになりかねません。

出会い力

合掌 長梅雨で蒸し暑い日が続いて
おりますがお元気で過ごしのこと
と存じます さて皆さんの周りにも
未婚の年頃の男女がいらつしやると
思います。最近では結婚しないのか出
来ないのか解りませんが年頃の幅も
だいぶ広がってきました。理想が高
いのか、出会うきっかけが無いのか
そこで結婚活動、略して「婚活」支
援産業も花盛りです 野球観戦の「婚
活シート」、環境型朝ゴミ拾いの「工
コン活」、一緒にランニングのラン活
等々 共通の趣味や年収、容姿、家
族状況など条件に合ったパートナー
を捜す方法として益々活況を呈する
ことでしょう しかしめでたく結ば
れてもその後の結婚生活も気になる
ところでは。最高の自分を演出して
出会い、めいっばいで結婚しても艱
難辛苦、浮き沈みは人生の常。途中
で息切れしたり、愛想をつかしては
いけません どの様な出会いも過去
世からのつながりがあるものです。
人には前世で約束した人が必ずいる
はずで。俗に言う赤い糸です。「法
華経」は前世の願いや誓願を想い出
させる經典です。声聞と言われた舎
利弗さえ前世の本願によつて菩薩と
して蘇りました 今生の良縁成就は
過去の宿縁成就。更に仏縁成就とし
て仏陀の出会い系サイトで三世に亘
る出会い力を高めていきましょう。

内村鑑三の日蓮聖人観

合掌 朝夕は涼風が立ちはじめ、秋の訪れを感じます。皆様お元気で過ごしのことと存じます。おかげさまで身延の道場も足場もとれ、浄化槽の設置と水回りの配管工事に入っております。さて鷲峰会のホームページを見てある方から質問のメールが来ました。内村鑑三著『代表的日本人』の「日蓮上人」の文中の古典についてでした。うっかりしたことは答えられないので、四〇年ぶりに読んでみました。『解説』によると日露戦争によつて高まつた欧米の日本への関心に応え、「日本及び日本人」を紹介する為に書かれたもので原文は英文です。日頃教学用語に馴染んでいられるせいも、訳文にも若干違和感を感じましたが、時代背景や執筆の動機を考えて日本人の代表として五人の中に取り上げられたことは一応よしとしましょう。しかし日蓮聖人は「偶像崇拜者」でなく「経典崇拜者」であつたとか、「闘争好きを除いた日蓮、これが私どもの理想とする宗教者であります」と結んである所などやはり納得できません。内村鑑三と雖も所詮自己の投影でしょうか。日蓮聖人の対外活動の激しさに目を奪われ、なにゆえに「闘争」せざるを得なかつたのか内面の信仰まで深く掘り下げて聖人を語るのには昔も今もむずかしいようです。

本妙律師手堀の井戸

合掌 朝夕秋冷の候、皆様お元気のことと存じます。さてお陰様で身延の道場も無事に完成致しました。仏祖三宝諸天善神はもとより依田棟梁をはじめ職人さんや御協力頂いた地元の方々又ご支援下さった皆様方に深く感謝致します。棟梁は建築が終わってから周囲の景観を良くするために木の間伐や、なんとか水道が引けないかと心を砕いておりました。そんな折、やはり釈迦牟尼堂建立以来お世話になっている地元の方と「本妙律師手堀の井戸」の話が出てきました。私も日高上人からうろ覚えで聞いたような気がしましたが、実際見たこともありませんでした。

聞くところによると途中にあるダムを造る時の飯場の水を供給したぐらいい出たそうです。何十年も使つてなかつたので苔むして淀み異臭を放つていました。棟梁は井戸の中へ入つて泥をバケツで掬い上げてきれいにしました。三回目ぐらいから水が澄んできました。今度行つたら井戸の廻りに四本笹竹を立て幣束を付けて水晶を奉納し荘厳したいと思つています。後で考えてみたら朝勤の折、お二方の御先祖様に回向しているせいか、棟梁のおじいさんは井戸を掘っていたと聞いて又ビックリ。

本妙庵の復興は先ず土地の神様への給仕からと改めて痛感した次第です。

鷲峰の月

合掌 深秋の候、皆様方お変わり無くお過ごしのことと存じます。さて先月（一〇月）は身延山大学の講義等で身延へ三回行ってきました。行学道場（弘誓庵）もおかげさまで徐々に家具も揃い、サツシが「複層ガラス」のせいもあり家屋全体が暖かく快適に過ごす事が出来ます。これから紅葉の好季ですが参籠の楽しみの一つに「お月見」があります。毎朝太陽（日天子）にはお経をあげ回向していましたがフトバランスを欠くと思ひ夜、月天子にもと始めました。夜は一杯飲んでいるせいもあり忘れがちなので携帯のアラームを八時にセットしてあります。私にとつて夜八時はお月様とのご対面の時なのです。雲一つない夜空で煌々と輝く月も趣がありますが雲間から見え隠れする月も風情があります。月と風と雲の濃淡（厚さ？）が織りなす天空シヨを酔眼朦朧とほてつた頬を夜風にさらしながらジーツと見ているのも身延ならではです。「月にむら雲花に風」と昔から雲や風を遮るものとして、仏教でも月を真如に雲を煩惱に喩えてきました。雲が厚くて見えない月は困りますが、雲間から時折見せる月の方に雅趣を感じるようになったのは年のせいでしょうか。そういえばお釈迦さまの一子はラゴラ（障月の意）と言います。

第二の出家

合掌 寒気つゝの折から、皆様方がかがお過ごしですか。私はようやく風邪が治り本調子に戻ったところで、そのうち治るだろうと高を括つていましたが発熱し、病院に行きました。新型インフルの疑いか、別室に通され鼻の奥まで綿棒を突つ込まれ、待っている間に先客が看護士さんに罹患を告げられていました。医療従事者とのこと。「ヤバイ！」もし自分も罹っていたらどうしよう。里帰り出産で帰ってきている娘と孫は……いろいろのことが頭を駆けめぐり、待っている時間の長かったこと。結果的にただの風邪でホツとしました。が、高血圧要注意といわれました。

やはり年のせいもあるのでしょう。さて前置きが長くなりましたがそんな折、長年の法友O上人が住職を譲り、別の寺に移つたことを聞きました。それも息子さんに譲らず弟子にです。本人は積年の思い達成なのでしょうが、よくぞ御家族や檀家さんも納得したものだと感じます。四人のお子さんはドイツアメリカ中国日本とそれぞれの活躍の場を得、O上人もNPOを立ち上げ東南アジアを中心に布教活動されています。スケールの大きさを感じます。今度の寺は風呂もなく奥さんは近くのアパートに住んでいるとのこと。私も年のせいなどといつてられません。

チリ、サン・ホセ鉱山の奇蹟

合掌 錦秋の候、お変わり無くお過ごしのことと存じます。さて八月五日に発生したチリ鉱山落盤事故で七十日間地下に閉じ込められた三十三人の作業員の救出作戦は世界の人々の耳目を集めました。発見されるまでの二週間は一日おきに一人当たり小さじ二杯分のツナ缶・牛乳一口・ビスケット一枚を分け合つてしのだそうです。肉体的空腹もさることながら彼等の七十日間の精神的苦痛は如何ほどだったか。もし自分がそうなつたら…と思うと、トテモトテ毛無理。自信ありません。不安、焦り、苛立ち、恐怖、絶望…に苛まれ、寝ても悪夢にも襲われたことでは

う。そんな彼等が精神に異常をきたさなかつたのは強いリーダーシップのもと生き延びるための協力・連帯、そして生きて再び愛する家族と会うんだという強い思いだったようです。そのような彼等を支えたのは「信仰」でした。なぜか宗教に触れたがらない日本のマスコミでは分かりませんが、チリは国民の八割がカソリック。彼等は最初に聖書と十字架像を所望し日課には一日二回の「祈り」の時間がありました。どんな絶望的状况にあつても「エスペランサ」希望を失わないこと。言うは易し、行うは難し。様々な感銘と教訓を与えてくれたサン・ホセの奇蹟でした。

無縁社会

合掌 寒気つゝの折から、皆様方がお過ごしですか さてNHKで放送された「無縁社会」 無縁死 3万2千人の衝撃」が本になったので早速読んでみました。孤独死やその予備軍とも言うべきひとりぼっちが増え続ける日本社会を描いたものです。タイトル通り衝撃的な本でした。私の近くのアパートでも最近4人も亡くなっています。又自分を含めて周りの、ん年後を考えた場合とても他人事とは思われません ひとり暮らしの急増の背景として少子高齢化、核家族化また生涯未婚者の増加などが考えられます。本来家族の絆という血縁や地域の地縁、働いている時は社縁等で繋がっているはずが様々な事情で「縁」が無くなり孤独のまま死んでいくことを番組では「無縁死」と言い、その様な人が急増する現代を「無縁社会」と言うのです 仏教の縁起の教えではすべの存在は見えない糸で繋がっている有縁で無縁はありません。そこで無縁とは死後供養される縁が無い霊をいうのです。本来人間はひとり死んでいく者、孤独死を恐れず、問題は死後の魂のゆくえと遺骨の処遇です。その所を生きているうちにしっかり確信し、せめて私達の周りは霊界を含めてお題目の法縁による有縁社会を築きたいものです。

親の体を洗う

合掌 梅一輪、一輪ごとの暖かさ。そこはかとなく春を感じる昨今です。さて昨年の暮れの御宝前の大掃除の時の事です。例年通りお釈迦さまのお像を拭いている時、ある会社の面接試験の記事を思い出しました。大学卒業の青年が社長から親の体を洗ってくるように云われました。その青年の家は貧しく母子家庭でした。母親は呉服の行商で息子を大学まで出したのです。結局母親の足を洗うことになり予想に反して余りにもゴツゴツした母親の足を握りしめ青年は声を挙げて泣き出しました。毎月の仕送りを「当たり前」のよう

に使っていたけれど、あのお金はお母さんがこんな固い足になるまで働いて送ってくれたのが初めて解ったのです。我が身を振り返ると母親は早く亡くし亡き父の体を病床で拭いたことは何回かあります。そんなことを思いながら例年になくお釈迦さまのお身体を拭く手に力が入りました。お釈迦さまの足裏は平らで輪形の文様があります。偶然そうなった訳ではなく全て過去の菩薩行の功德として形作られたものなのです。仏の身体的特徴としての三十二相は全てが私達をわが子として慈しんでこられた親の御苦労の結果なのです。

お水取り

合掌 早春の候、お元氣でお過ごしのことと存じます。さて三月と言えば東大寺のお水取りがあります。今や季節の風物詩ともなり、修二会しゅにえの代名詞にもなっています。もともと様々な罪を懺悔して国家の安泰や人々の幸福を祈る修二会しゅにえ中の一つの儀式なのです。十三日の丑の刻（午前一時半頃）閼伽井あかかい（若狭井）より水を汲み本尊にお供えします。身延でも毎朝末明本妙さんの井戸から水を汲んで釈迦牟尼堂と本妙庵の御宝前にお供えしています。別に東大寺のお水取りにヒントを得た訳ではありません。きっかけは昨年の暮れ身延山

大学学長宮川了篤先生の最終講義を聞いたことでした。それは日蓮聖人も修したと言われている『虚空蔵菩薩求聞持法』で毎朝決まった時間に水を汲んで御本尊にお供えすると云うことでした。当たり前と言ったら当たり前ですが、幸いなことに釈迦牟尼堂には水道がありません。井戸はあります。寅の刻（御前三時から五時）は龍神さんが水を吐く時間なのだそうです。云われてみると井戸が龍神さんの口に見えてきます。水道ではそういう訳にはいきません。釈迦牟尼堂は提婆達多品の「水を汲み薪を拾い…」の修行もできます。

心のコンパス

合掌 花冷えの続くこの頃ですが、皆様がいかがお過ごしでしょうか。さて四月は新しいスタートの月です。会社や学校にとそれぞれ希望を持ち期待と不安を抱えた若者達が旅立ちます。私も身延山大学での講義も始まります。今年はどうな学生さんともめぐり会うのか楽しみです。将来宗門を支えるであろう学生さん達に単なる知識だけでなく、学ぶ楽しさや何の為に学ぶのかしっかりと志を身につけてもらいたいと思います。去年はこちらの力不足もありイマイチ反応が感じられませんでした。早朝からの本山勤めで睡魔と闘っている子や聴講の学生さん達の目つきを

見れば解ります。日蓮聖人の門下にとつて、法華経や日蓮聖人の御遺文は学生時代だけ学校で学ぶのではなく人生の指針として生涯追求しなければならぬものではないでしょうか。志とは親父ギャグ風に云うと「こころ」が「さす」方向で、人の荒海を受けて右往左往しても常に一定の方向に軌道修正する心のコンパスなのです。志を菩提心に置き換えて日蓮聖人曰く「菩提心を発す人は多けれども退せずして実の道に入る者は少なし。すべて凡夫の菩提心は多く悪縁にたばらかされ、事にふれて移りやすき物なり。」と。悪縁にぶれない「志」持ちたいものです。

質問力

合掌 寒暖不順な時節、皆様方お変わりなくお過ごしのことと存じます。さて夜のテレビはクイズ番組花盛りで私はすぐチャンネルを変えますが、NHKの「クエスタ」だけは面白く見ています。普通のクイズ番組はどれだけ知っているか回答者の知識の量が決めてとなりますが、「クエスタ」は解答者の質問の質が問われるのです。五人ずつ二チームに分かれ、うち一チームに対し司会が「この箱の中身は何？」などと出題します。次に五人が司会に順番に「持ち歩くものですか」「生き物ですか」と質問し司会は「はい」か「いいえ」で答えます。その答の感触から答え

を類推し、質問が二巡したところで相談して答えを出します。自分の先入観を抑制しながら他の人の質問を参考にしての「質問力」が試されるのです。亡くなった叔父は晩年全く口がきけなくなり、こつちのいうことは理解できたので「うん」と「ちがう」での病院でやりとりを想い出します。「今どうしてもらいたいのか」枕布団、ベッドの傾き、カーテンの開け具合から「これからどうしたいのか」を頭の縦と横の動きで類推するのです。叔父の『沈黙』を解釈するのは至難の業でした。信仰とはどう生きるべきか』を『法華経』『御遺文』にいかに上手に質問するかです。

口蹄疫

合掌 寒暖不順な天氣が続いていま
す、いかがお過ごしでしょうか。さ
て六月の懺悔の日は放生会を行いま
す。日頃私達の「いのち」を支える
為犠牲となつた多くの「いのち」に
感謝し、食生活をあらためて考える
良い機会だと思ひます。宮崎県では
口蹄疫に罹^かつた牛が何万頭も殺され
ました。ワクチンを接種すれば感染
は防げるし人間が食しても害は無い
ならば、静かに余生を送らせてやれ
ばと思ひますが、そうはいきません。
商品価値がないものを飼つておくと
餌代などで経済を逼迫するからです。
ペットならば別ですが、所詮最初か
ら殺される運命で飼われているので

す。「屠殺^{とさつ}」と「殺処^{さつしよぶん}分」の違い
だけです。人間に食べられる為に殺
されるのは「屠殺」伝染病に罹つて
殺されるのは「殺処分」どう呼ばれ
ようと牛にとつては同じ苦しみです
昔聞いた歌が悲しく想ひ出されま
す。売られた子牛が市場に連れて行
かれる「ドナドナ」です。この歌の
元は妻と二人の息子を強制収容所に
連れて行かれたユダヤ人が作つたと
いわれています。牛にとつては「ホ
ロコースト」の現代版とも言ふべき
今^す回の処置。昔は亡くなつた牛は牛
頭^{ずかんのん}観音で供養してました。せめ
て関係者によつて懇ろに弔つてもら
いたいとささやかに祈るのみ。再拝

ふぞうふげんきよ
不増不減よ経

合掌 梅雨の候、お変わり無くお過
ごしのことと存じます。さて今月は
お盆の月です。当道場では毎月先祖
供養を行つていますが、皆様は御先
祖を含めて死者の数について考えた
ことがありますか。と言うより死者
の数と生者の数の関係はどうなつて
いるのでしょうか。世界中で、毎年約
1億4千万人が生まれ6千万人が亡
くなり、8千万人増えていますので
来年は9億人は越えている計算にな
ります。それに比べて死者の数は単
純に考えても百年で6億となります。
人類の歴史を考えると天文学的な歴
大な死者の数になります。『不増不
減経』によりますと智慧第一と言わ
れた舍利弗尊者も同じ疑問を持つた
らしく、お釈迦さまに質問します。
「一切の衆生は無始より六道を輪廻
して、生死を繰り返してはいますが、
衆生の数に増減がありますか」と。
お釈迦さまはその問に寄せて様々な
法門をお説きになり、増減はないと
言うことです。靈界と生者の増減は
それぞれあつても両方プラスした数
はいつも同じということ。私達
が先祖を法華経・お題目で供養する
ということはただ成仏を祈るだけで
なく生まれ変わつても法華経・お題
目にめぐり会いますようにと願うこ
とです。生まれ変わりの縁が近けれ
ば先祖供養は子孫供養となるのです。

心の中の消しゴム

合掌 炎暑の候、皆様水分の補給に気を付け、くれぐれもお体ご自愛下さい。さて韓国映画「私の頭の中の消しゴム」をDVDで見ました。うまいタイトルだなと思いつつ、私なんぞも最近名前などに「頭の中の消しゴム」の出版が結構多くなってきたようです。この映画は若年性アルツハイマー病という次第に記憶を失っていく難病に冒され、愛する夫さえも頭の中から消えていく妻と、そんな妻を受け止め支え続ける夫の物語です。「頭の中の消しゴム」が新しい記憶から消していくので現在の夫を過去に付きあっていた男と勘違いしてしまうシーンなど見ていて胸が痛すぎます。あらためて現在の自分、夫婦家族というものは、様々な過去の思い出の上に成り立っているものだと思いました。映画では記憶が消え心まで崩壊していく妻を過去の愛の記憶だけを支えに寄り添って生きていく男が切なく美しく描かれています。現実には家族の一人がそうなたらといる考えさせられます。当道場では毎月十五日は懺悔の日とし様々な懺悔供養を行っています。過去の因縁罪障を懺悔という「心の中の消しゴム」で消していくのです。日蓮聖人曰く「小罪なれども、懺悔せざれば悪道をまめかれず。大逆なれども、懺悔すれば罪きへぬ」と。

湯樂(ゆらく)のすすめ

合掌 連日猛暑が続いておりますが、謹んで御見舞申し上げます。さて毎月妻の運転で身延に行っておりますが、途中休むにしろ長距離の運転は年々負担が増してくるようです。かといつて今更小生が免許を取る訳にもいかず、そこで最近は日程の許す限り途中一泊することにしていきます。先月は石和の健康ランドに一泊しました。距離的にも丁度良く料金も普通の旅館より易いぐらいです。景観を楽しむ露天風呂や温泉、薬草湯、マツサージ効果の超音波、気泡湯等二十種類のお風呂やサウナがあり、風呂上がりには館内の居酒屋で好きに一杯やりながら食事が出来、チョッ

トした小旅行の気分が味わえます。朝風呂がまた楽しみです。いつもながら朝勤の時間なのでお湯につかりながら小分けにお経をあげながら次々と風呂場を移動していくのです。自我偈の湯、神力偈の湯、そして唱題の岩、これが実に気持ちよいのです。露天に大小様々な樽や石をくり貫いた湯船の横に樹木があり、その下の平らな岩盤に東に向かって坐り、風や岩とのスキンシップの中の黙唱、風が体の中を突き抜けていきます。お自我偈の『我が此の土は安穩にして天人常に充滿せり…宝樹華果多くして衆生の遊樂する所なり』まさに衆生の遊樂ならぬ湯樂する所でした。

心の変換装置

合掌 やつと秋冷の候、皆様お元氣のことと存じます さて以前NHKで元プロ野球監督野村克也が母校の小学生に野球を指導する番組を見たことがあります。現役時代は、強打の名捕手として数々の授賞に輝き引退後はヤクルト、楽天の監督としてデータを重視し ID野球 で知られた名監督です 野球は勝敗のゲーム。野村の偉さはその敗因を徹底的に分析し次に活かすことにあります。普通は失敗したことから目をそらし次を期して忘れてしまいがちです。野村は小学生に言います「失敗と書いて、成長と読む」と 昔から 失敗は成功のもと と言いますが、私

達の人生ゲームはある意味では失敗の積み重ね。同じ失敗をしてもどう受けとめるかによつて大きく差がでます 釈尊曰く「同じ水を飲んでも蛇は毒で人を害し、牛は乳で人を益す」と。同じものを入力しても変換装置によつて出力は違つてきます 考えてみれば日蓮聖人はピンチをチャンスに変える変換の達人とも申されましょう。末法という仏教のピンチを正法流布のチャンス、安国論において国難を邪法撲滅のチャンス、法難を自己の謗法罪消滅・上行発表のチャンスと様々な逆縁逆境のピンチを善知識仏縁のチャンスとお題目の信仰によつて変換されたのです。

帰山式

合掌 寒さの中にも春の息吹が感じられるようになりました。いかがお過ごしですか さて毎年中山で行われている荒行も十日で百日満行です。釈迦牟尼堂へ入行前毎月参籠していた二人の青年僧も無事に出行できそうです。行を支援し、留守を預かる寺族も何やかやと大変です。出行しで行われる帰山式の準備で大わらわです そんな折私達が日常使っている「行って来ます」「お帰りなさい」について面白いメルマガの記事を見ました。英仏語に直訳できない日本語独特の意味合いがあるようです「行って来ます」には動詞が二つあり、本来の意味は「行って（必ず帰って）

来ます」送り出す方の「行ってらっしゃい」は「行って+いらっしゃい」の「い」が落ちたもので「行って（必ず帰ってい）らっしゃい」の意味だそうです 更に外国人には不可解で直訳できないのは「お帰りなさい」と「ただいま」です。「お帰りなさい」は「しなさい」という命令形で「（無事で）お帰りなさい」ということは本来帰ってくるまでに使うべきものです。ということは「無事で帰ってほしい」という祈りを、「ただいま」というまで唱えていたということなのです 昨冬十一月一日「行ってらっしゃい」と見送った行僧がまもなく「ただいま」と帰ってきます。

父親として名乗れない悲しさ

合掌 浅春の候、いかがお過ごしですか さて朝のNHKドラマ「つばん」もいよいよ終盤にかかり主人公「あかり」の恋の行く末も気になってきました。以前放送された時のこととです。自分の本当の親のことが知りたくて大阪にやってきた「あかり」はやつと父親にめぐり会つのですが、育ての親への配慮などお互い実の親子として名乗れません。アップにした表情から娘を前にした父親の万感の思いが伝わってきます。ウルウルのシーンです その時フト思いました。お釈迦さまもこの様な思いをしたのではないか。否、私達がさせたのではないか。と 自我偈の末尾

のお釈迦さまの どうしたら衆生を法華経の信仰に導き、速く仏にすることが出来るか、日夜心を砕かれて いる 毎自の念に触れた時、衆生とはまさしく私のことでこれまで気付かなくて申し訳ない。いわばお釈迦さまに片思いさせていた訳です。これからはお釈迦様ほどは思えません が私もお釈迦さまのことを思うと決心した時も迂闊にもその念の裏に長い間気付いてもらえなかったお釈迦さまの悲しみは解らなかつたのです 日蓮聖人はその悲しみを誰よりもわかり、だからこそ本当の親を知らずまた知ろうともしない人々を激しく非難したのではないのでしょうか。

天災・人災

合掌 桜花爛漫の候、例年通り心もはずんで……と言いたい所ですが、被災者のことや原発のことを考えると口ごもつてしまいます。三月十一日以来、気が重く筆も重く身延釈迦牟尼堂の花祭りもあり、すっかりお便りが遅れてしまいました。花祭りも一時はどうなるかと思いましたが、おかげさまで好天に恵まれ五〇人近くの参加者のもと無事に行われました。満開の桜の下で行僧さんの水行もありました。芭蕉の さまざまの事おもひ出す桜かな をもじつて さまざまの事おもひつつ桜かな とう感じてした。さて今度の東日本大震災で様々なことを考えさせられる

した。あらためて日蓮聖人の『立正安国論』を読み返してみました。古来自然災害に対して様々な解釈をしてきました。石原都知事曰く「天罰」。人間の悪業を戒めるための天の意志としての災害でいわば天災も人災な訳です。日蓮聖人も同じ立場ですが、すこしニュアンスが違います。人々の所業によつて善神や聖人がいなくなり、悪鬼邪神がはびこり災害が起きるのです。今回の地震も津波も地球物理科学的に言えば太平洋プレートとの地殻変動に伴うもので人間にはどうすることも出来ませんが、初動対策の遅れや判断ミス、設計上の想定ミス、原発の暴走は人災です。

子孫へのツケ

合掌 新緑が目にしみいる時節となりました。あの震災からまもなく二ヶ月経とうとしております。皆様方如何お過ごしでしょうか。被災者の方々は復興への道も厳しく仮設住宅など新たな苦難に直面しております。福島原発もいまだに放射能の垂れ流し状態です。私も二〇数年前、息子を肩車して原発のデモに参加したことがあります。同じ原発でも様々な団体が参加していてそれぞれ主張があり、結局「同床異夢」と思い、自分なりに原発にしばらく取り組んでいました。日蓮宗現代宗教研究所に『文殊師利菩薩の憂鬱』という拙文も寄稿しました。副題を

「原発問題のミソロジー」と言い、放射能汚染を仏国土汚染問題として捉え、原発でも特に問題の多い高速増殖炉「もんじゅ」の冷却剤金属ナトリウムの漏洩事故をきっかけに現代の構造的な問題として原子力発電所を神話的視点から論じたものです。半減期が二万四千年という極めて毒性の強いプルトニウムを次から次へ生み出すのです。私達の電気をジャブジャブ使った享樂のツケを赤字国債同様、子孫に残すのです。欲望を充足するためだけの懺悔なき現世利益信仰は子孫の徳をも奪うと言います。国民全体で電気の使い方をあらためて考えなければならぬと思います。

節電の指針として電力係数を

合掌 初夏の候、いかがお過ごしですか さて今度の福島原発震災をきっかけに生活の仕方を考え直しての方もおられると思います 我が家でも土鍋で御飯を炊いてみました。結構美味いです。考えてみれば電気炊飯器で炊いて残りは冷凍し、またレンジでチンし…電気電気電気です。じゃあガスは良いのかと思いでしよう。調べてみました。一口に天然ガスと言ってもいろいろあります。LPGガス、LNガス、アメリカで話題のシェールガス等、熱効率や二酸化炭素の排出量等石炭石油より勝れています。いずれは主力を太陽、風、地熱などの自然エネルギーに移行す

るにしても当面危険の多い原発に依存するよりましです さて今回言いたいことは家庭内での節電は当然として、私達の家庭に来るまでその製品がどれだけ電気を使ったのか。特に食品飲料に関して電力消費量が指数化されていれば消費者として選択の余地があるのではないかと言うことです 「フードマイルズ」は食品の輸送距離コストを二酸化炭素を排出する化石燃料に還元する指標でした。「電力係数」は電気に限定するのです。そうすれば家庭外の節電にもなります。なるだけ電気食いの缶製品をやめ、本来旬の物は旬に、地産地消を、ということになりそうです。

永遠の愛か三世に亘る縁か

合掌 早くも猛暑到来ジメジメの季節。皆様方がお過ごしでしょうか。さて先日結婚式に行つて来ました。キリスト教式の演出は素晴らしい。ステンドグラスの陽光の中フルート・オルガンが鳴り響き純白のウエディングドレスで身を包んだ新婦が父親とバージンロードをしらずしらずと歩いてきます。そして新婦は新郎の手に さすがに「愛の宗教」であるだけに次々と夫婦の愛がイケメンの牧師さんから語られます。愛はダイヤモンドのように磨けば磨くほど美しく、なによりも堅い物になる……

でたし 自分たちを越えた「大いなるもの」の中に結婚を位置づけることはとても大事なことです。夢中な時はよいけれどやがてアラが目につくようになり、人生上り坂、下り坂そして想定外のまさか。人生いろいろな坂を一緒に手を取り合つて歩いて、添い遂げて頂きたい「添い遂げる」とは、最近余り聞かれませんが、美しい言葉です。「一生、夫婦としてくらす」という意味で普通使われていますが、因みに広辞苑を見ますと「困難を克服して、ついに夫婦となる」という意味もあるそうで、いわばゴールインとスタートの両義があり過ぎる。過去の縁と来世へつながる言葉です。

観心本尊抄読解テキスト

合掌 暑さの次は台風、身延に来て雨風も強く、周りが木々に囲まれていたので**防風**か**景観**かどっちを優先するか改めて考えています。二ヶ月ぶりのハガキとなりました。七、八月は身延中心で、月例行事も休み供養が滞ったり、参加を楽しみにしていた方には失礼しました。今月は表記通り行いますので参加下さい。さなかで、かねてから作りたかった観心本尊抄のテキスト作りに着手しました。解説書など沢山あるのに今更：又日蓮教学の最高峰に位置する御遺文でとても私達には：とお思いでしょうが、日蓮聖人御自身「当身の大事」と云われ富木さんをはじめ全日蓮門下に与えられたもので、お題目の心髓に触れたかったら、まず手にすることです。そしてお題目の真髓を究めたかったら、じっくり学ぶことです。授与された富木さんの気持ちになつて、コピー版ではあります。が、まず原文（漢文）一字一字を拝し、それから行数字数を同じにした活字版を参照し、次に送りがな返り点版、そして読み下し分：性急に意味を分かつとせず、聖人の筆跡をなぞる気持で繰り返すのです。第1章 承↓兼に。数と數 伝と傳の混在を原文に忠実に作成。信仰も生涯学習。大いにチャレンジして下さい。

1 クリック三千

合掌 秋冷の候、皆様お元気のことと存じます。さて愛用のノートパソコンが壊れたのでメーカーに問い合わせたら修理費六万円かかるのと。頼むのをあきらめかといってそのまま廃棄処分するのも悔しいので、ダメもとで直そうと決意。ハードディスクがいかれたと素人判断しネットで注文、五千円弱。さてどうするか、インターネットで検索すると丁寧写真入りで交換方法が出ていました。悪戦苦闘しましたが、今のところ軽快に作動しています。ついでに手こずっている外字ファイルの移行も何か良い方法がと検索したら、ありました。しかも無料ソフト

で難無く解決。改めてインターネットの世界は情報満載でスゴイと感嘆しきり。今やネットでデモを呼びかけ一国の体制まで変わり、国の外交機密文書の公開から家庭のアルバム、個人のツブヤキまで。十界に約すればテロリストへの勧誘、自殺サイトから出会い系サイトなど六道の世界が手招いています。世界中が電網で繋がっています。ネット社会と雖も所詮人間の営みの反映、当たり前と言えば当たり前ですが、一念三千ならぬクリック三千の世界。小生もホームページ《鷲峰の風》を立ち上げてネット社会へ参入し仏界情報発信して早六年半、決意新たに頑張ります。

合掌 紅葉の季節、お変わり無くお過ごしのことと存じます。先月十七日は浅草経王寺の総代貫井さんの二十三日忌でした。いろいろと懐かしく想いだされます。子供も無く寝たきりの奥さんの世話をしながら毎月の日朝さんの縁日には大きな声で坊さんと一緒にお経をあげていました。ところが困ったことに御祈祷になると祈禱肝文までついてきて、だんだん夢中になり声はでかくなりテンポはズレルでこちらは息継ぎも出来ません。ある時とうとう住職が一喝「おじさん！ダマツテロヨ」春秋の両彼岸には『尊師の御宝前に供う』と一筆認められた書留が送られてきました。日頃お経の対価としてのお布施を頂戴している身としては有難く、もったいなくて法衣代としていました。周りの坊さんもそうしていいとのことでした。そんな形で若いお坊さんを育てていたのだと思います。酒席での十八番「姿三四郎」の好きになつてはいけなない恋にいけないあーい が独特の節回しで今でも耳に残っています。若い頃はかなりイケメンを髣髴させる端正な顔立でいろいろあつたようです。奥さんを看送ったあと暫く独りで暮らしていましたが、最期は食を断って住職の腕の中で息を引き取りました。本化優婆塞貫井基次郎行年八十九歳

「でも」と「しか」

合掌 初冬の候、皆様お元気のこと
と存じます◆さて東日本大震災から
八ヶ月過ぎました。瓦礫の処分、復
興計画の遅滞やこれから冬にかけて
仮設住宅での防寒除雪など問題は山
積しています◆先日福島原発から二
十五キロのお寺で被災された住職さ
んの話を聞きました。映像からしか
知らなかった惨状は想像も及びませ
んでした。加えて目に見えない放射
能の恐怖と闘いながら、来る日も来
る日も遺体安置所に通い続け弔いの
お経をあげ、そうしているうちに夜
眠れなくなり血圧も上がりっぱなし。
所謂惨事ストレスに罹ったのです◆
自坊から遺体安置所までの「弔いの

行脚」も一応彼岸会を機会に結願終
了しホッとしたのか突然止めどもな
く涙が流れ出したそうです。思わず
こちらにも涙が溢れてきました◆震災
に対してテレビの前の拱手座視の小
生にとつて偉そうなことは言えませ
んが、日蓮宗青年僧のボランティヤ
活動のあり方にいささか疑問を感じ
ていた小生にとつても深く頭が下が
る思いです◆日蓮宗の僧侶でも出来
ることでは無く日蓮宗の僧侶しか出
来ないことで貢献するべきではない
かと。まさしく住職さんしかできな
いことでした◆「坊さんにでもなる
うか」という坊さんにしかなれない
坊さんにはとても出来ないことです。

「でも」と「しか」

合掌 初冬の候、皆様お元気のこと
と存じます◆さて東日本大震災から
八ヶ月過ぎました。瓦礫の処分、復
興計画の遅滞やこれから冬にかけて
仮設住宅での防寒除雪など問題は山
積しています◆先日福島原発から二
十五キロのお寺で被災された住職さ
んの話を聞きました。映像からしか
知らなかった惨状は想像も及びませ
んでした。加えて目に見えない放射
能の恐怖と闘いながら、来る日も来
る日も遺体安置所に通い続け弔いの
お経をあげ、そうしているうちに夜
眠れなくなり血圧も上がりっぱなし。
所謂惨事ストレスに罹ったのです◆
自坊から遺体安置所までの「弔いの

行脚」も一応彼岸会を機会に結願終
了しホッとしたのか突然止めどもな
く涙が流れ出したそうです。思わず
こちらにも涙が溢れてきました◆震災
に対してテレビの前の拱手座視の小
生にとつて偉そうなことは言えませ
んが、日蓮宗青年僧のボランティヤ
活動のあり方にいささか疑問を感じ
ていた小生にとつても深く頭が下が
る思いです◆日蓮宗の僧侶でも出来
ることでは無く日蓮宗の僧侶しか出
来ないことで貢献するべきではない
かと。まさしく住職さんしかできな
いことでした◆「坊さんにでもなる
うか」という坊さんにしかなれない
坊さんにはとても出来ないことです。

服装としての袈裟衣

合掌 桜前線北上中。関東のピークは四月七、八日とのこと。花まつりが楽しみです◆さて当ハガキは新聞記事に触発されて書くことが多いのですが、今回もそう。ひと頃『料理の鉄人』で、フレンチの鉄人として活躍した坂井宏行さん云く「料理人が将来、伸びるかどうかはコックコートを着た姿に自分自身が惚れるかどうか、で分かる」と◆料理界のみならず、自分の仕事に対する誇りや愛着度に比例してだんだん仕事着も似合うようになり、さまになつてくるのですが、最初の段階で「惚れる」というのは余程のことで、あこがれの仕事に就いた喜びがベースになれば出来ないうことでしよう◆憚りながら小生も最初に袈裟衣を着けた喜びは忘れられません。僧侶の着する袈裟衣もいろいろあり、服装として考えれば、教団を構成する僧階に準じた**制服**として、儀式執行の**正服**として、色とりどり金襴刺繍盛りだくさんの**盛服**があります◆しかし本来の**聖服**は糞掃衣ふんそうえと言つて捨てられた弊衣を洗つて縫い合せた粗末なものなのです。恩師日高上人は生涯居士衣と木蘭の五条か七条の袈裟しか着しませんでした。その剃髪衣姿は私にとつてはあこがれでした。その後伸びたのかは解りませんが、最初着したとき自分なりに惚れた姿でした。

アンチエイジング

合掌 朝晩は厳しい寒さが続いています。さすが、昼間の陽光に春間近を感じます。いかがお過ごしでしょうか。

さて、いつまでも若く健康でありたいのは誰しも思うこと。そこでアンチエイジング産業今や花盛り。人間見た目の美容整形から健康志向で様々な栄養補給剤に至るまで、我が家の食卓にも入れ替わり登場する始末。お隣の韓国では18歳以上の女性10人中8人は美しくなるために美容整形の手術が必要と感じており、半数は美容整形手術を受けた経験があるそうです。そのうち日本も芸能人並みの容姿が町にゴロゴロするのでしよう。「アンチエイジング」(エイ

ジング)は年をとることですから、それに抵抗(アンチ)すること、二つに訳せます。「抗加齢」と「抗老化」どちらも「抗」が付くからには年をとることがデメリットということ、老化の時計の針を遅らせたり無理に戻すことを意味しています。しかし「加齢」という言葉にはメリツトの意も含んでいるのではないのでしょうか。「円熟」「老成」「枯淡」……年相応の成熟が要請されます。小生も孔子の人の言うことを逆らわず素直に聴く「耳順」を過ぎましたが、いまだにフィルターを通してしか聞けません。肉体は「抗加齢」で精神は円熟し「順加齢」でありたいです。

命の入口心の出口

合掌 ようやく梅のつばみが開き一輪一輪ほどの暖かさが待ち遠しい今日この頃、いかがお過ごしでしょうかさて散歩の途中で立ち寄った本屋でいい本にめぐり会うこともありませんが、最近はいンターネットでそんな出会いもあります。本というより特集記事で、西日本新聞のタイトルは「命の入口心の出口」 私達の命を育み支える食物の命の入口である「口」に焦点をあてたものです。たしかに食品の安全性や食事と病気に對する関心は高まってきました。それは口に入る前と口に入ってから後の消化器官のレベルが主だったようです。口は健康のシグナルであり、歯

周病は特に全身の病氣と密接に繋がっているのが最近解ってきたのです。「よく噛む」ことの大事さは解つていても長年の習慣や又つい噛みやすいものを選んでしまいがちです。堅いものをよく噛むことによつて顔の筋肉が動き脳も活性化。さらに多く分泌される唾液は消化効率だけでなく虫歯や歯周病になりにくくするそうです。記事ではまだ触れていませんが、口は又「心の出口」でもあります。心に思ったことを言葉にする出口です。口は災いの元であり「愛語よく廻天の力」もあり、幸せの元でもあります。入口としての口、出口としての口、両方点検を怠りなく。

蕎麦猪口の旅

合掌 一雨ごとに新芽が伸長し緑が濃くなってきました。いかがお過ごしでしょうか 先月中旬、四日ほど奥能登の方へ行ってきました。主な目的は学生時代バイト先で知り合い現在能登半島の突端、馬^ま^つ^な^ぎ蝶町で曹洞宗のお寺の住職をしている友人に骨董の蕎麦猪口を返すことでした。彼は当時バイト代を貯めては発掘調査に出かけていました。暫く留守をするので使って良いよということ、時には湯飲み茶碗として使いつつとうとう四十年以上たつてしまいました

は幼少の時から父親に「他人を先にしなさい」と言われたと話しました。そのせいなのかほとんど自己主張をしたこともなくいつも人の話を「ふむふむ」と聞いていました 築二百年以上経つ庫裡で囲炉裏を囲んで旬の山菜、サカナで地酒を酌み交わし、二十代にタイムスリップしたせいか後半の記憶が定かではありません。翌朝宿酔気味ながら、奥能登を車で案内してくれました。その時もすべてこちらの希望通りのコース、最後駅まで送ってくれました。檀家三十軒、子供やお年寄りに良寛さんのように慕われているようです 日本も広い、人の心も深い、再認識の旅でした。

クリーンデイ

合掌 梅雨も間近、いかがお過ごしでしょうか。あまり暑くならないうちに草刈りや山内整備をやるうと先月は二度身延に行つてきました。虫対策には蚊取り線香を腰に着けネット付の帽子を被り、山蛭には酢と塩を混ぜた液を染み込ませた布を長靴に巻き付け行うのです。最近慣れてきたせいか草刈り機を振り回しても腰痛も筋肉痛もありません。身延で汗をかいて松戸へ帰つてきたらクリーンデイでした。今年はずち回りで実務は女房任せですが地域の区長を仰せ仕り、道路の草刈りに張り切つて参加しました。何と小生など若い方で膝や腰の痛みなど訴えながらフ

ーフー言いながらやっているお年寄りが多いのです。子供がいても地域の付き合いは親の役目と思つていのか出てきません。バックミラーを覆つていた枝葉の伐採も頼まれ皆さんに喜ばれました。身延の経験が松戸で活かされたのです。正直言つて皆さん一生懸命やつているのでしよ。うが見ててまどろっこしかったです。次回はナイロンコードの草刈り機持参で一氣にやり、ついでに生い茂つた川淵の樹木の枝葉の剪定もやるうと目論んでいます。因みに鷲峰会松戸道場の心のクリーンデイは表記の行事案内になっております。心と環境―身土不二どちらもクリーンに。

東電体質垣間見たり

合掌 風に揺れる窓外の木々を眺めながらキーボードを打っています。いかがお過ごしですか。さて先日釋迦牟尼堂から下山する時、木が折れて電線に覆い被さっているのを見つけました。以前から雪を被ったせいか弓なりになって気になっていた木でした。丁度釋迦牟尼堂の敷地にある電線に架かる枝の伐採の許可を得るために来た業者の名刺があつたので早速電話しました。ところが、緊急を要するのであれば、下請けの会社なので手続きに時間がかかり、直接東電に電話してくれとのこと。面倒くさいなあと思いつながら、近くの電柱の標識番号まで調べてかけ直しました。すぐやつてくれると思いきや、行つてはみたが車が大きすぎて山道に入らないので土日休みで月曜日にあらためていくと電話がありました。土日にかけて来客があるのでその間停電にでもなつたらどうしようかと女房は心配する始末。停電も無く一応作業は終えたようだが納得がいきません。先ず倒木は想定外とは思えません。定期的に送電線の点検をしているし、電柱の標識番号で立地条件などデータを共有していればどんな車で行けばわかるはず。そして枝打ちの下請け会社が現場を一番知っているはず。縦割りの弊害か。そんな会社に原発はとて無理無理。

松阪・伊勢の旅

合掌 猛暑の中、謹んで御見舞申し上げます 本居宣長の史跡を訪ね松阪と日本人の心の古里、とも言うべき伊勢神宮をお参りしてきました 松阪は約四十年ぶりです。学生時代から心酔していた小林秀雄が当時月刊誌『新潮』に「本居宣長」を連載し、宣長の遺言状に書かれていたお墓に興味を持ち、墓前で車中で求めたウイスキーで三三九度を行い二人だけの結婚式以来でした その後僧侶になり二人こうしてお参りも出来、孫も授かったことを奉告し御自我偈一卷捧げてきました。「敷島の大和心」の山桜は周りの木々に負けまいと必死で上へ上へ伸び朝日に匂うとして

いるようでした 次の日大鳥居の前で待ち合わせをしていたOさんの案内で内宮参拝。宇治橋を渡り見事な松を見て、五十鈴川の浄水で手水。沿道の巨木に目を奪われながら玉砂利を踏みしめ石段に辿り着き参拝。「何ごとの おはしますかは 知らねども かたじけなさに 涙こぼる」西行さん程涙は出ませんでした けれども大いに得心しました 日頃、本尊のことにこだわっている小生としてあえて伊勢神道の本尊とは天照大神をお祭りしている神殿をはじめその「かたじけなさ」を生み出す厳肅なる空間と原初のお祭りをいまだに続けている歴史だと思いました。

近所づきあい

合掌 やつと涼しくなってきました。夏の疲れが出る頃、くれぐれも体に気をつけて下さい。さて日頃地域の事に殆ど関心も持たず、近所も道で挨拶程度でしたが区長（実務は女房）に成るとそういう訳にいきません。回覧板、募金集め、お祭りの手伝いなどで否応なく付きあわせられます。町内にもいろんな人がいます。赤い羽根の募金集めのことです。先ず募金の趣旨を回覧しその後、組長さんが各家集めて領収書を発行するのが、従来のやり方でしたが、若い組長さんは回覧板に募金を入れる袋と領収書を貼付して回したのです。確かに一度で済むし、一軒一軒頭を下げて

回る手間も省けます。合理的です。郊外の農家がよく野菜と料金を置いて勝手に買い物するやり方を小生は連想しました。ところがそれが町内の長老の怒りに触れたのです。従来のやり方も当初は意味があつたのでしようが、段々形骸化しそれならいっそ…合理的にと。分からないわけでもありません。地域の些細なことと同じ日本人でさえ近所付き合いは難しいものです。まして国同士の近所付き合いはなおさらでしょう。竹島・尖閣、領土をめぐるってお隣さんとギクシャクしています。守るべきものは何なのか。国どおしの近所付き合いの叡智が求められています。

じゅほうえん
鷲峰苑だより

合掌各地の紅葉の名所がテレビで紹介されています。如何がお過ごしでしょうか。釈迦牟尼堂のモミジも少しづつ紅葉し十二月の成道会には周囲を美しく彩っていることでしょう。

ついこの間の猛暑がウソのようで、作務をやるには虫や山ヒルに悩まされることも無いもってこいの好季。

先ず竹垣の補修、垣根が倒れてそこから鹿が進入したらしく畑の野菜の先ツチヨが食べられていました。ナント、コロコロとウンチまで残して

そして樋の掃除、水道が無いので雨水（天の恵として天水とも言うべき）は貴重な水資源。洗濯・風呂用に。今回は釈迦牟尼堂、弘誓庵の落

葉を、お隣さんの本妙庵は埃が土となつて苔むして草まで生えていました。庭木の剪定、プロから見たら笑われそうですが我ながらやつと形になつたような気がします。それから井戸の清掃、先月水をポンプで汲み出し底まで入つて泥や小枝葉つばを掻き出したのですが今回も同じように溜まっていたので透明の樹脂の波板で蓋をすることにしました。将来水行場として使うため整地の材料の石を毎朝水汲みに行く時リュックに入れて運んでいます。日本画家奥村土牛の名前の由来である中国唐代の奇僧寒山の詩「土牛石田を耕す」をもじつて「土象石山を築く」なんて。

成道後の懺悔

合掌 冬枯れの季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。成道会のため身延へ行く矢先、笹子トンネルの崩落事故が起きてしまいました。毎月通っている所だけにゾツとします。さてお釈迦さまがお悟りになる前に壮絶な魔王との闘いがあります。がその後はどうなったのでしょうか。勿論魔王の誘惑や恐怖を撃退し成道と相成るわけですが、魔王は消滅したわけではありません。その後のお釈迦さまの伝道生活がすべて順風満帆ではなく、提婆達多に殺されようとしたり瑠璃王に釈迦族は滅ぼされてしまいます。生涯付け狙っていたのです。成道前の「降魔」とはお釈

迦様御自身の「悪」の行いの根絶であり、それは強い決意に支えられているのです。そして恩師日高白象人の「鷲峰」所載の「釈尊の懺悔」によると毎月行われた布薩会の時、誰よりも先に「私が犯したかも知れない罪やあやまちに気付いた者はいないか若し気付いた者があれば指摘して欲しい。私はこの場で懺悔したいと思う」と仰せられたのです。お釈迦さまの大慈大悲の人格は不動の決意とたゆまぬ懺悔で成り立っているのです。私達も成道会に因み「分かちやいるけどやめられない」習癖を反省し、「二度と…しない」と決意し、懺悔に勤めようではありませんか。

神界のポピュリズム

合掌 如何お過ごしですか。梅の蕾が
だいぶ膨らんできました。身延の春
が楽しみです。さて日蓮聖人御在世
当時に無住というお坊さんが編集し
た沙石集という仏教説話集が有りま
す。当時の人々がどの様な信仰をし
ていたのか、仏教をどの様に説いて
いたのか、興味ある話が載っていま
す。比叡山で桓舜僧都というお坊さ
んがあまりにも貧しいので日吉神社
に参籠して一心に祈願していました。
しかし叶いません。恨み辛みで下山
して今度はお稻荷さんにお参りしま
した。程なく「千石」という札を額
に張られる夢を見て大喜びしました。
それも束の間、又夢にお稻荷さんが

出てきて、日吉神社の神様からの命
令で先の札は返してくれと言われま
した。承知しかね尋ねると、お稻荷
さん曰く「我は小神なので、祈願の
お経に答えようと約束したが、大神
である日吉の神様の真意が分からな
かった。彼の神が申すには『桓舜は
今度こそ生死を離れるべきなのに今
生の栄華はかえって仏道修行の邪魔
になる』と その深き慈悲に気づき
驚いた桓舜はやがて比叡山に帰り、
ひたすら修行に専念したそうです
神様にもいろんな神様がいます。す
ぐ願い事を叶えて下さる神や大きな
見地からその人の事を考えて教えて
叶えさせない神も。神慮計りがたし。

気をつけよう、口パク読経

合掌 今回身延からです。このところ暖かい日が続き、野面をわたる風にも、ほのかに梅の香がただよってきまず。楽しみにしていた野菜はやはり猿と鹿？にやられていました。網を被せたチンゲンサイは横から手を入れてとったのか跡形もありません。敵もさるもの。地上部分が食べられて成長の止まった大根は干して、食べ残しの高菜は即席漬けに、おこぼれに預かりました。所々芽を出してきたフキノトウは刻んで薬味やそのまま醤油をかけて温かい御飯に、大地の恵みの春です。さて松戸でルビ付法華経の真読版を女房にこつこつキーボードを打ってもらい（デジタ

ル写経、略してデジ写）やつと方便品が終わり目下校正中です。ついついパソコン上の操作で「慣れ」が「狎れ」になりがちです。日蓮聖人「曾谷入道殿御返事」に曰く「此の経の文字は皆悉く生身妙覚の御仏なり」と。その様な気持で一指入魂、一打入魂せねばと戒めています。緊張感を持続するのはなかなか難しい。ついでに言わせてもらおうと読経も然り。何度も読んでいると考え事をしても口だけ動いてスラスラ読める。スイッチが入ったテープのようなもので、お経が考え事のBGM化する。そこに落とし穴がある。お経の意味を学ぶ大事さもそこにある。

洗足式（せんぞくしき）

合掌冬物のコートがしまえませぬ。
春寒料峭（しゅんかんりょうしやう）（春になつて寒さがぶり返し、肌寒く感じられるさま）と言
うそうです。今朝の新聞で知りまし
た。体調には充分気をつけて下さい
さて先月ですが、カソリックの「総
本山」パチカンで新しい法王が就任し
ました。一連の報道を興味深く観て
いました。様々なセレモニーの中で
「洗足式」はシヨッキングな映像でし
た。新法王が少年院の受刑者の足を
洗うだけでなくその足に接吻したの
です。ココまで書いている時に「ピン
ポーン」出てみるとキリスト教の伝道
宅配。逆に「あなた洗足式について
どう思うか」と聞いたところ「特に興

味ない」とのこと。じゃあとお帰り
頂いて早速ネットで調べてみると洗
足式とは、最後の晩餐のとき、イエ
ス・キリストが弟子たちの足を洗い、
「主であり、師であるわたしがあな
たがたの足を洗ったのだから、あな
たがたも互いに足を洗い合わなけれ
ばならない。」と命じた聖句により、
足を洗うキリスト教の儀式。と有り
ました。お釈迦様の菩薩行のひとつ、
全ての人に仏身を観て礼拝し成仏の
確証を与えた、常不軽菩薩行に通じ
るものがあり、単なる儀式としてで
はなく日常行うべきものとして法王
自ら範を垂れたのでしよう。中には
女性やイスラム教徒もいたそうです。

師匠と酒匠

合掌 木々の緑があざやかな季節となりました。皆様如何お過ごしですか。身延で井戸の清掃や伐採した樹木の整理等、作務に追われお便りが遅くなってしまうました。さて今回はある方を偲んで書いてみたいと思います。昭和五十七年に遠寿院の荒行に入った時に先輩上人から「うちの総代で私の入行をきっかけに立正大学院の宗学科に入学した人がいる」と聞き、奇特な方がいるもんだなあとと思い、出行後先輩上人のお寺に手伝いに行つて紹介されて以来のお付き合いでした。社長業傍ら様々な役職につき、戦後の不動産業界のウラにも通曉し政治経済歴史更に大学院で学

んだ日蓮教学と話題が豊富で、毎月先代社長の月命日に伺い、お経のあの酒席が楽しみでした。熱燗でさしつさされつゝおかげで私も夏でも日本酒の熱燗党になりました。そして「演歌も法華経」とばかりに、ひと頃スナックでカラオケでシメ、が定番コースでした。会社の宴会や社員旅行まで同行させて頂きよく飲みました。私にとつて酒匠という方向を示し、酒匠は人生の幅厚みを与えてくれました。西行法師が願った如く桜の季節、「ウラを見せオモテを見せて」散ってしまいました。来世も酒を酌み交わしたいものです。

そして父になる

合掌 梅雨も足踏み状態、いかがお
過ぎですか。身延で梅雨前にと恒
例の井戸さらいと雨水タンクの掃除
をやってきました。これで一年間ま
ず安心です。さてフランスのカンヌ
映画祭では枝監督「そして父になる」
が審査員賞を受賞し話題になってい
ます。実際の映画を観てないので予
告編から想像するに「順風満帆の勝
ち組」エリート社員がある日病院か
らの連絡で、六年間育てた息子は病
院内で取り違えられた他人の夫婦の
子供だったこと知る「苦惱葛藤を経
て「そして父になる」というストー
リー」と思われます。生物学的遺伝子
レベルの親子か、愛情を降り注いで
きた六年間か。六年でなく一月、半
月、一年……いや三年だつたら更に十
年、成人後だつたらどうだろう。私
にも六歳の孫がいるので六歳の設定
が微妙です。そしてタイトルが良い
です。日頃何気なく接続詞として使
っている「そして」の使い方に妙味
があります。人生いろいろありまし
て……そして となるわけです。そ
しての前の部分をいろいろふくらま
す事ができます。 仏教の三世観か
ら言いますと、過去世来いろいろあ
りましてそしてお互い父となり母と
なり夫となり妻となり子となるので
す。お釈迦さまは菩薩行を積み一切
衆生の「そして父になる」のです。

みずばち

合掌 残暑も厳しい折、如何お過ごしですか。今年も釈迦牟尼堂で初めてクーラーがあればと思いましたが、井戸も湯水状態ですが、各地では大雨による土砂災害が報じられています。そんな折、新聞のコラムで「みずばち」という言葉を知りました。最初は水を入れる器「水鉢」のことかと思いましたが、「水罰」のこと。作家の幸田文は水を粗末にすると父親の露伴から「いまに水罰があたって、水で不自由する。おまえに水がこしらえられるか。」と叱られたそうです。松戸では井戸水と水道をふんだんに使えますが、身延ではそうは行きません。降雨を期待し、マメに天気

予報をチエツクします。朝、本妙さんの井戸へ行き水神さんへ法味言上し、水を汲み御宝前にお供えするのですが、水を背負って坂を上り下りしていると、井戸を掘った本妙さんをはじめ先師の労苦が偲ばれます。「背負い水」とは人が一生で使う水を背負って生まれてくるという言葉が伝えて、その水を使い切ると寿命が尽きると教訓的に使われています。(『背負い酒』もあるかも知れませんか?)
信仰的に言うとは水を無駄にしたり汚したりすることは水神さんへの不敬の行為に当たる訳で福島原発の汚染水などは神罰ものです。今月の懺悔の日は神々へのお詫びのお経です。

道場リニューアル

合掌　いつまでも夏が居座り続けそ
ろそろ秋の出番が待ち遠しい今日こ
の頃いかがお過ごしでしょうか　さ
て松戸道場も築三〇年近くなり、あ
ちこちガタがきて遂にリフォームし
ました。以前から計画していたので
すが、夫婦の年回りで今年と決め、
最初大手の業者に見積を依頼したの
ですが、道路事情を見て渋い顔、や
る気が無いのが露骨に見えたので断
念。久しぶりにムカツと来ました。
気を取り直して改めて近所の業者に
依頼、見積りして契約と、いざ工事
が始まり半月間何かしら落ち着かな
い状態が続きました　仕事ぶりを嫌
がられない程度にジ―と見て、大工
さんをはじめ左官、水道、解体、ク
ロス、電気、屋根：それぞれ個性豊
かな職人さん達とお茶を飲みながら
の話も楽しいものでした　予想して
いたより土台等しつかりしていまし
た。新築の時の親子の大工さんにあ
らためて感謝。在来工法は増改築は
きくし、床、襖、障子、畳等張り替
えれば気分も一新。家も生き物、メ
ンテナンス次第で寿命も延びます。
いずれ屋根や外壁も。今回良いハウ
スドクターとの出会いもあつたので、
心強いです　リフォームの為、幣束
で勧請した宅神・地神・水神に感謝の
法味言上で一件落着。リニューアル
松戸道場御来堂お待ちしております。

笠間稲荷神社

合掌 秋も深まり、いつの間にか立冬も過ぎました。さて三十番神をはじめ機会あらば全国の神社仏閣を参拝したいと日頃から念願しておりますが今回は笠間へ行つてきました。笠間稲荷神社は日本三大稲荷の一つとして知られ、全国から参拝者が訪れています。稲荷というと狐を連想しますが、狐はあくまでも稲荷神の使いであつて稲荷神そのものではありません。その狐も人に取り憑いて害をなすおどろおどろしいイメージがつきまといますがそれは、稲荷神が真言密教の陀^だ枳^き尼^に天^{てん}と習合したときに出来たもので豊川稲荷に代表される仏教系の稲荷神です。本来 狐は山

に棲み冬から春にかけて里に降りて、穀物を食い荒らす鼠を捕つて食べたります。また山の神は、春に山を降りて田の神となり、秋の収穫が終わつたら山に帰ると考えられていた。そうした狐の習性と山神信仰が結びついて、狐が神の使いと考えられるようになった。ということ。それに稲穂と狐の外見上の色(黄金色)もあるかと思われ。同じ稲荷を名乗つても仏教系と神道系は厳密に区別するべきでしょう。自分の過去世や先祖が一時信仰していたかも知れませんか。又何か失礼なことをしたかも知れませんか。懺悔行の一環としての神社仏閣参りは続きそうです。

数え年

合掌 梅の便りもちらほら…如何お過ごしですか さて今年も俱生神・星祭も無事に行われました。前もつて願主の生年月日と数え年を読み上げるわけですが、今回その数え年について書いてみます 昨今は生まれた時は0歳で誕生日ごとに一年が加算される満年齢を用います。数え年は生まれた時は既に一歳で、お正月でみんな一つずつ年をとるといことです。ですから満年齢より一つか二つ多くなり、少しでも若く見られたい、年をとりたくない心情からも敬遠されがちです 生まれた時は一歳か0歳かは、命の始まりが受胎か誕生かによって決まります。日蓮聖人

は私達が「母の胎内に入ってより…」俱生神が守つて下さると仰つています。寿命とは授命であり、この世で俱生神と共に過ごす期間なのです。そしてお正月に年をとると言うことはただ自動的に一年加算されるということではなく、お正月に門松を立て、おせち料理を供え、お迎えする歳徳神としとくじんに一年の新しい魂、歳の徳を授かるということなのです。歳徳神という昨今は恵方という吉方の神様として知られています。本来は登志とは稲を表し、豊作をもたらす神様でもあります。そういうわけで数え年とは私達を御守り下さる俱生神と歳徳神の「おかげ年」なのです。

釋迦牟尼堂エネルギー事情

合掌 梅が散り、河津桜が咲いていま
す。いかがお過ごしですか さて福
島原発事故からまもなく丸三年。い
まだに十四万人の人達が避難生活を
強いられ、汚染水、燃料体の取り出
し等難題を抱え、そして事故の原因
は本当に津波なのか、その前の地震
によるものなのか、いまだに事故の
全容さえ明らかにされていません
国のエネルギー対策に対していろい
ろ言いたいことは有りますが、ここ
では視線を落として身延釈迦牟尼堂
のエネルギー事情に触れたいと思っ
ます。熱源としてプロパンガスは配
管の耐震対策、運搬の業者依存の為
ボツ。結局暖房は灯油、調理はIH
ヒーターが主となりました。なるべ
く電気を使わないようにそして調理
と暖房を一体化できないかと考える
と昔の暮らし方を見直すことになり
ました 周りは薪の材料だらけ、こ
れを使わない手は有りません。いざ
燃やしてみると種類、乾燥度、大き
さ、タイミングなど微妙。炭は囲炉
裏とセットでなかば観賞用でしたが、
熱源として考えると一酸化炭素に要
注意。薪同様備長炭からオガ炭：価
格もピンキリです。釋迦牟尼堂エネ
ルギーのベストミックスを求めて試
行中 薪炭に関して蘊蓄のお付き合
いして頂ける方は、御来山お待ちし
ております。薪割りとセットですが。

里山としての鷲峰苑

合掌 春麗の候、いかがお過ごしでしょうか さておかげさまで釋迦牟尼堂の花祭りも満開の桜のもと盛会に行われました。終わった後も雪で倒れたヒノキの皮むき作業や薪作りで結局松戸に帰ってきたのは十一日でした 釋迦牟尼堂の御宝前は本仏・本法・本僧という所謂「本門の三宝」の具わった文字通り心の宝の山であることは今まで折にふれ力説してきましたが、薪に凝りだして山内の樹種に注目し始めたら意外と里山としても宝の山であることに気がつきました 広葉樹林は薪や堆肥としての落葉を提供し又クルミ、タケノコ、フキノトウ、タラの芽やワラビ等の

山菜の宝庫でもあります 薪は化石燃料に堆肥は化学肥料に利便性の故に取って代わられ、又戦後の植林計画により花粉症患者は増大し外材の輸入によつて金にならない山は益々荒れ放題です。その結果雪にも弱く土砂災害のもとにもなっています。今年の大雨のシーズンが心配です。今こそ昔のスローライフを体験し、環境学習の場としての里山を見直すべきです 阿蘭若とは仏教要語で寂靜処・遠離処と訳し、もとは森林の意。静かな、人里から少し離れた修行に適する所をいうのですが、釋迦牟尼堂・鷲峰苑は里山としての可能性を持つ現代の阿蘭若なのです。

牛の生まれ変わり

合掌 若葉が日に日に濃くなつて来ました。いかがお過ごしでしょうか。さて「生まれ変わり」―輪廻転生は現代では人々に因果応報を説き道徳に導くための建前として語られたに過ぎないと考えられがちですが、先日ある席で前世が牛だったというお坊さんの話を聞きました。見るからに醇朴な方で師匠に言われ、占術等でも牛に因んだ事が多くご本人も信ぜざるを得なくなつたとの事でした。

なんでも前世牛だった時、お寺のために一生懸命働いた功德によつて今生お坊さんになる事が出来たそうです。それも入寺式の時は駕籠で入るほどの由緒ある大きなお寺の住職になり、お寺を立派にしようといろいろ事業を行うといつも周りの人に恵まれて順調に事が運ばれたそうです。勿論ご本人の人柄もあるでしょうが、前世の功德なのでしょう。類似の話は「日本靈異記」等仏教説話文学集にあります。まさか現代に聞かされるとは。改めて我が身に照らし合わせて考えさせられました。過去世の借金を返すために生きていくのか。過去世の借金に更に借金を重ねて生きていくのか。一見運が良さそうな人は過去世の貯金を食いつぶしているのか。借金を返しながら貯金しているのか。三世を通していろんな生き様を考えさせられます。

親族年表

合掌 向夏の候、いかがお過ごしでしょうか。月はじめは身延で山務にいそしみハガキが遅れがちになるので今回早めに松戸からです。さて先日叔父の七回忌法要を行いました。父の姉は現在九十五歳で存命ですが、後は兄弟七人みんな亡くなっています。前々から親族の年表を一覧にしたらいろいろと便利だろうと思っていました。朝夕のお勤めの時、日めくりの過去帳で供養はしていますが、親族がその時それぞれ何歳だったのわからないのでこの際と思い父方の作ってみました。「家系図」という便利なソフトが有り戸籍謄本の生年月日、没年月日と続柄を打ち込む

と自動的に家系図が出来上がり「年表表示」をクリックすると横軸の年代にそれぞれの生存期間が棒線で表示されます。祖祖父は文久四年生まれで八十八歳まで長生きしたのですが、それまで嫁、妻そして八十六歳の時には長男も亡くしているのです。その時ひ孫の私は二歳。晩年どんな思いだったのか、表にすると一目瞭然で偲ぶよすがになります。終戦を境にわが親族は鹿児島と与論に生活の拠点は別れるのですが、終戦や与論の本土復帰などの時代の節目や父母達が亡くなった時叔父達はそれぞれ何歳だったのか。それぞれの生涯に思いをはせるのも先祖供養の形です。

合掌やっつと涼しくなってきました。夏の疲れが出る頃、くれぐれもお体に気をつけて下さい。さて先日NHKで どう伝える？謝罪のココロというテーマでどうすれば人間関係を壊さずに済む「上手な謝罪」ができるのか？様々なケースが取り上げられていました。子供の不始末、ご近所や友人とのトラブル、家族ことに夫婦間の喧嘩など。姿勢と謝罪との関係を脳科学の立場から言うのと謝罪する際には、相手がおおむけのときを選ぶと、許してもらいやすくなるなどのこと。また持参する菓子折は平均的な価格より多少高いものを選んだと方が無難とか 心から悪いと

思っているならとことん誠意を持つて謝るしかないと単純に思うのですが、最近はメールのやりとりも一因なのか直接相手に自分の気持ちが伝えられない人が多いそうです。そこで「お困りの際は、代わりに謝ります」という「謝罪代行」というビジネスがある聞いてびっくり。別れてくれない元カレに母親代わりになつて謝る。うまくいけばストーカー防止にも成るのか？ 今月の懺悔の日はいわば神様との関係を回復修復する為の神様への謝罪です。神様には代行は通用しません。自ら写経お題目を供えて行って下さい。小生謝罪代行業者ではありません。念の為

えいみん 永 眠

合掌 木々も色づいて来ました。皆
様いかがお過ごしですか さて霊園
などに行きますと最近は一ニクな
形の墓石や墓碑銘が多く見られるよ
うになりました。「家」の觀念が希薄
化し家族のあり方や死生觀が多様化
したことの反映なのでしょうか あ
る大手広告会社が募集した墓碑銘に
【目覚まし時計よさようなら】とい
うのがありました。なるほど、仕事
にせよ家事にせよ余儀なく起こされ
ていた生活におさらばして、眠りた
いだけ寝て、起きたい時に起きる。
時計を気にし拘束された人生からや
つと解放される。そして永遠の眠り
につく。ということなのでしょうか

分からなくもないですが、仏教は
三世を説く宗教。究極的には半眠状
態の欲望まみれの生活からいつか目
覚めて、そして「覚」という悟りを
目指さなければならぬ覚醒の宗教。
永遠の眠りなど無いのです 永眠と
はもともとキリスト教で人の死を表
す言葉でもあり、死後の世界や輪廻
転生を信じない人達が使う用語なの
です。訃報やデパート任せの香典返
しの挨拶文や年賀欠礼のサンプルそ
のままの喪中八ガキなど、気をつけ
なければなりません。「死去」敬意を
表して「逝去」でいいのです。因み
に「善逝」は仏の異称。念仏信者で
もないのに「往生」はいけません。

比叡山開眼の旅

合掌 秋も深まり朝夕冷え込んできました。身延釋迦牟尼堂山内も紅葉が色づくなか、今回は新たに敷石の参道を作つてきました。巽たつみ（東南）の方から木製階段（前回制作）を登つて日高上人のお墓の前に出るわずか五ハルメートルぐらいですが、お題目の七字にあわせて七個の大きな石と回りに大小様々な石を配した渾身の作です。来月成道会の際、歩行ご笑覧下さい。松戸に帰つてから十三日は真間山弘法寺のお会式の法話ということで遅くなりました。さて久しぶりの法話ということでは何を話そうと考え鈴木真間山貫首さんと今から二十七年前、比叡山に大黒様の開眼に行った時の

ことを話しました。私の目的は伝教大師畢生の願行たる大乘戒壇院の拝観でした。貫首さんのたつての望みで比叡山で日蓮聖人が住まわれていた横川よかわ定光院での大黒天を開眼し二人で撃鼓唱題して山内を歩いたのが懐かしく想い出されます。大乘戒壇院は天台宗でも四年に一回のご開帳なのですが、前夜会館で偶然知り合ひ酒を酌み交わした方のおかげで成就、まさに変化の人でした。改めて日蓮聖人の『真間ま釈迦しゃ佛ぶつ御ご供養くよう逐お状じよう』を拝読しますとそこには本門の戒壇のご本尊教主釈尊と大黒天のことが書いてありました。三十七年前の比叡山の旅が現在とつながるのです。

もうすぐお正月

合掌 寒さもひとしお身にしてみてきました。如何お過ごしでしょうかさておかげさまで身延釋迦牟尼堂の成道会も無事に行われました。今年松を剪定し、枝を門松に仕立てて早々立ててきました。年末の諸行事に追われている内にあつという間にお正月です。もういくつねるとお正月 お正月には 凧たこあげて こまをまわして♪ 指折り数えて待つていたあのお正月はどこへ行つたのでしょうか 凧たこあげ羽根つきよりもゲーム、お餅は一年中食べられるし、着物は面倒くさいし、門松は印刷紙、お節は注文、何でも簡略化され、子供達にとって唯一の楽しみは

お年玉ぐらいでしょうか そもそも正月とは新年を祝う単なる行事というよりは新しい年を迎え諸の神様や祖霊に感謝するお祭りだったのでないでしょうか。それも日本全国最大のお祭りです。主神は新年をもたらす歳徳神としとくじんです。年末の大掃除、門松、注連飾り、おせち料理は歳徳神をお迎えしお供える為でした。ということまでこれまでは歳徳神としとくじんの御幣は年明けの二月一日の俱生神星祭りに授与していましたが、それだと吉方方位神だけの神徳なので、本来の年神様としてこれからは年末に荒神等の紙札と一緒に用意します。歳徳神をお迎えし良い年をお迎え下さい。

くしょうじん 俱生神再考

合掌 梅の芳香に春の訪れを感じます。如何お過ごしですか さて今年も俱生神・星祭も無事に行われまし
た。星祭はあらためて説明するまでもありませんが各人生まれつきの「星」をお祭りする行事です。その「星」によつて統計学的にその人の生涯や運不運・盛衰のサイクルを予測し、より良く生きる人生の羅針盤の役割を果たしています 当道場では単なる「星」だけをお祭りするのでなくその人がなぜその「星」の元に生まれなければならなかったのか、その必然性を仏教の教えに照らし合わせて俱生神も一緒にお祭りしていきます 日蓮聖人が四条金吾の奥さん

に与えたお手紙には「俱生神は梵天・帝釈・日・月が人々を守る為、母のお腹にいる時から死ぬまで影の如く付き従つてその人の善悪を天に報告する」と書いてあります。ただ拝んでいれば御利益を授けるといふ神様ではありません。私達が日頃何を思い人様に何を言い、日々何をしているかそのトータルな行いを監視し、報告する神様であります。ということとは強い信仰や自らの行いを懺悔することによつて益々力を発揮する神様でもあります **俱生神**とは私達と**俱に生まれ俱に生きる神様**であり、又私達が死んだ後閻魔様に報告する**為俱に死んでいく神様**でもあります。

深大寺白鳳釈尊像

合掌 身延釋迦牟尼堂山内の木々も芽吹き白梅や椿の堅い蕾みも段々ほころんできました。これから楽しみみの季節です。さて身延の帰りに調布の深大寺に行つてきました。深大寺と云えば蕎麦で有名ですが私は正直言つて蕎麦の美味しさがよく分かりません。それは本当に美味しい蕎麦を食べてないからだろつと云うことで一度深大寺の蕎麦を食べてみたいと思ひやつと念願叶つた訳です。さすが、門前軒を連ねてずらり蕎麦屋、車の駐められるところを探して入つたらかなり古く一瞬不安になりましたが、意を決して注文。それなりに美味。蕎麦だけじゃ申し訳なく折角

だからとあらためて駐車場を確保し深大寺を参拝しました。深大寺は天平五年（七三三年）開創で現在天台宗に属し東京都では浅草の浅草寺に次ぐ古刹とのこと。諸堂を巡拝し南門に差し掛かつたところにガラス張りのお堂があり、なんと釈迦如来像（白鳳仏）が安置されていました。重要文化財のため防災上の配慮はさされているとはいえ私には本堂の本尊は阿弥陀如来に奪われ宗教的生命は終わり文化財として曝されているよくな気がしました。なんでも明治四十二年元三大師堂の壇下から発見されたそうです。仏像にもお題目によつて蘇生成仏が必要なのでしょうか。

御札の回収率

合掌 立春とはいえ厳しい寒さのなか梅が芳香を漂わせています。如何お過ごしですか 久しぶりの道場だよりとなりました。別に反応を期待していたわけではないのですが、手応えが感じられず中断してしまいました。気を取り直して送りますのでお読み下さればありがたいです さて今年も俱生神・星祭が無事に行われました。旧年の御札御守をお持ち頂き感謝のお経をあげ浄火供養（お焚きあげ）しますが、余所の神社の御札も混ざっていました。今までは身延で一緒にお経をあげ浄火供養していましたが、今年は近くの神社だったのでそこへお返ししようと思つて

います 神様をお願い事をしたり、お土産がわりに御守を買つたりしますが、必ずその神社仏閣にお礼参りをしてお返しするのがスジです。たとえ軽い気持で受けても神様は願い事が叶うか叶わないかは別にしろそのことを忘れないはずで。神様にランク付けするのは畏れ多いことですが、高級な神さま程そうだと思いません。くれぐれも失礼のないように心がけねばなりません 御利益の可否や参拝者の数で比較しがちですが、御札や御守りの回収率でランク付けしたらどうなるでしょう 日蓮聖人曰く神さまは「正直を以て力と為す」と 人も正直でなければなりません。

卍のシンボルマーク

合掌 釈迦牟尼堂山内は水仙が咲き梅が芳香を漂わせています。桜の蕾も少し膨らんできました。花祭りが楽しみです。さて二〇二〇年の東京オリンピックへ向けて外国人観光客を「おもてなし」しようとは様々な分野・業界で対策が講じられています。そんな折「国土地理院が、ナチスのカギ十字を想起させる寺院記号「卍」^{まんじ}のかわりに「三重の塔」を提案した」という記事を目にしました。イギリス放送局BBCは日本語のツイッタ

ーの「仏教の卍の方が遙かに歴史があるし、無学で極端に頭の悪い一部外国人のために、日本の地図が合わせなければならぬ」というのは、本当に愚かな話しであつて、強烈に反対したい」という意見も紹介されています。仏教徒としても看過できません。卍はお釈迦様の仏陀としての身体的特徴である三十二相の一つで胸の瑞相です。あらためてネット百科事典『ウィキペディア』で調べてみました。サンスクリット語のシユリーヴァトサに由来し洋の東西を問わず幸運のシンボルとして用いられ、中国では法華経の訳者鳩摩羅什によつて「徳」と訳されました。卍は仏様の徳を象徴するものなのです。過度に相手に気を使わず本来の意味を伝える好機と捉え「郷に入れば郷に従え」と胸を張つて言いたいです。

戒名はスタート

合掌 春麗の候、いかがお過ごしでしょうか。さておかげさまで釋迦牟尼堂の花祭りも無事に行われました。前日は大雨でしたが当日は好天に恵まれ今回は二十六人の参加者でした。お礼旁々のご報告の郵送や真間山弘法寺での講義の準備等ですっかり遅くなりました。真間山では僧侶の方々と「修法勉強会」と一般の方への「日蓮聖人のこころと法華経」というタイトルで講義を毎月行っています。質問に答えるコーナーも有り今回「戒名」について知りたいという事です。世評では戒名の要不要論から金銭との絡み、お寺さんやお坊さんへの不信等から果ては葬式

無用論まで様々な意見があります。いろんな複雑な要素が絡み合っているので三つの視点から整理して考えたいと思います。一つ、**本来の戒名の意味**、仏弟子として自覚の問題。二つ、**現在の檀家制度のもとの戒名の意義**。信仰の深淺、お寺への貢献度による命名権の独占。三つ目は**死者の人権と戒名の関係**。生前の信仰と三世に亘って考える。かえって分からなくなつたと思いますが、奥が深いのです。いずれにしても**人生のゴールで死んでから付ける諡**でもなければ葬式とセットのものでもありません。私達の三世の営みのなかでのスタートなのです。

三世に亘る夢

合掌 釋迦牟尼堂山内も青葉若葉の美しい季節となりました。木々の成長も著しくまだ虫も発生していないので樹形を整えるため剪定に汗を流しています。日頃の運動不足で夜一杯やるとグツタリでテレビを見ながらいつの間にかタオルケットを掛けて座椅子で寝込んでしまい、フト目が覚めてぼんやり見ていたら段々引き込まれてしまいました。漫画の編集部が舞台で漫画家のタマゴを担当の編集部員が二人三脚で育てていく話のようです。今や漫画は世界に誇る日本の文化。ユ一達も大勢やって来ます。お馴染みの役者さん達やお笑い芸人達が強烈な個性を發揮し顔ぶれ

を見ているだけでも楽しいです。ネットですべてみると「重版出来！」というタイトルで二〇一四年日本経済新聞「仕事マンガランキング」第一位を獲得し、月刊！スピリッツで好評連載中の人気漫画がついにドラマ化とありました。多くの若者が夢を抱き漫画家を目指しますが叶うのはごく一部。大半は挫折失意のうちあきらめるか、パートで生活費を稼ぎながら捨てきれぬ夢を追い続ける親の心配の間で「夢」が生活の安定かと、いつの時代でも若者が悩む問題。可もなく不可もなく平均値を求める生き方よりも若者よ大夢を抱け。総ての夢は仏に成る夢に通じる。

聖 火

合掌 梅雨の晴れ間に肌も汗ばむ頃、
いかがお過ごしですか 小生今月も
身延で草刈り、剪定と梅の収穫をし
てきました。鬼ぐるみとモクレンの
枝が松や杏の木に覆い被さっていた
のでハシゴを架けてロープで固定し、
幹にしがみつきお題目を唱えながら
ノコギリで切り、無事達成。風通し
も良くなりそれぞれ日光に当たり木
も喜んでいるようです 根もとから
切らざるを得ない時には自我偈の後
半「我此土安穩…」から一読して、
枝の場合はお題目を唱えてから必ず
切っています 伐採した木はなるべ
く無駄にしないよう太さに分けて薪
にしています。太い薪は石で困った

焚き火用の炉と南米産のカマド「チ
ムニー」でお湯を沸かしたり煮たり
焼いたり、小枝は「ウッドガススト
ーブ」で同様。そして夕方のお勤め
の時「山内草木の精霊殊には伐採し
た樹木の精霊 草木国土悉皆成仏」
と回向しています。燃やすというこ
とは木にとっては火葬であり、炉や
カマドは火葬場なのです。動物と違
って骨も遺さず、灰だけ。潔いもの
です。まもなくオリンピック。聖火
は太陽によつて発火し、聖火リレー
は単なる開催地への移動でなく古代
と現代を結ぶという意味もあるそう
です。炎を見つめながら古代人の火
に対する畏怖と信仰を考えました。

暦を見直す

合掌 二百二十日を控えまだ台風に警戒しなければなりません、秋の実りが楽しみです。さて毎月市川真間の弘法寺で修法勉強会を行います。今回のテーマは「暦」でした。

日頃暦は建築や引越等の日には方位を選ぶのが主で細かく見たことはあまり有りませんでした。日にちの吉凶や方位神の多さにいちいち気にしていたらがんじがらめになりそうで迷信めいたものもありますが、せっかくやるからには一字一句読み解いていこうということで資料を作成していくうちに気づきました。奥が深いです。祝日の由来、へーそうなんだ 季節の行事として五節句

や二十四節気が有りますが、中国と日本の季節感のズレを調整するため「雑節ざっせつ」は日本独自に考え出されたようです。農事に従事する人にとっては欠かせません。面白いのは二月と十二月の八日に「こと始め」と「こと納め」があり、二月は一連の正月の行事が終わり「こと納め」そして同じ日が農事殊に稲作の準備に入る「こと始め」になり、十二月はその逆です。昔は正月と稲作は日本人の間二大イベントでした。その他神社仏閣の縁日など、季節に根ざした先人達の生活の智慧の宝庫です。もっと活用してみたら如何ですか。もつすぐ白露。身延の山中より。

往生と往詣

合掌 秋も深まり朝夕冷え込んできました。お変わりなくお過ごしのことと存じます。遂に携帯電話をスマホにしました。手頃なデジカメが欲しい、それならいつこの際と買いました。触ってみてビックリ！手の平サイズの機能でんこ盛りのパソコンでした。ホームページ「鷲峰の風」もスマホ対応を考えています。さて毎月第三土曜日は市川の真間山弘法寺で講座を担当していますが、今回は「往生と往詣」でした。普通「往生」というと「…九十七歳で眠るが如く大往生を遂げた」と使われ、理想的な死に方をいいますが**本来は仏教語特に浄土門で「極楽浄土」へ往いって生まれる**ことを意味します。今生の最後で使われる言葉でなく来世の入口で使われるべきものなのです。この娑婆世界は穢れていて苦しみが多すぎるので修行するところを極楽浄土に替えるところなわけです。ですから「往生」即「成仏」ではありません。「往詣」とは往まいって詣まるといふことで来世でも今生と同じように本仏釈尊を始め三宝諸天善神にお詣まいりすることなのです。そこは靈りょうぜんじょうど山浄土と言います。日蓮聖人曰く「極楽百年の修行は穢土一日の功德に及ばず」と。四苦八苦のこの娑婆世界で修行し、亡くなる時は「いつてまいります（往いって詣まります）」と言いたいものです。

お釈迦さまに触りたい

合掌 落ち葉が舞い、寒さが増してききました。お変わりなくお過ごしのことと存じます。早十二月、今月は行事も目白押しで、八日の成道会を控え四日から参籠します。さて、その釈迦牟尼堂に孫達が来た時の話です。朝のお勤めが終わった後、突然三歳の孫が、「お釈迦さまに触りたい」と言い出したのです。「ふーむ」とりあえず抱っこして手が届くお釈迦さまの左膝の前に連れて行きました。ソーツと手を伸ばし撫でて満足したのかニコツとしていました。上のお兄ちゃん二人は何度も参籠しているのですが競って太鼓や木杵をひっぱたいててもそんなことは言ったこと

はありません。女の子のせいなのか何だか分かりませんがちよつと：違うようです。それで思い出しました。釈迦牟尼堂にお釈迦様をお迎えた時、日高上人がお釈迦さまの膝を撫でながら「そのうち黒光りするぞ」とおっしゃったことを。予想に反して見た目はほとんど変わっていません。たぶん触るなんて畏れ多い、ということなんでしょう。お釈迦様に人目お会いしたい。せめてひと言でもお声を聞きたい。おみ足を頂きたい。というその恋慕渴仰の歴史が法華経に込められています。あらためて感じました。信仰も人間関係の原点である『スキんシップ』であると。

『榎山節考』再考

合掌 寒風の中、梅が咲いています
今月身延へ道路の積雪が予想され電車で行ってきました。車中『榎山節考』を読みました。今年古希を迎えたので節目で何かを、と思い、読み直してみました。主人公の「おりん」も私と同じ年です。姥捨て山を題材にした小説で映画化もされました。おりんが自分で歯を折るシーンは強烈に残っています。甲州のある寒村が舞台で語尾の「ねえら、あるら、ずら、くりよう」の言葉遣いは身延でもよく耳にします。その村では昔から古稀近くになると口減らしの為「榎山まいり」をしなければなりません。おりんは息子の後妻も決

まり、孫にも子供が出来いよいよ決行の時がきました。当日雪が降るのを待ち望んでいました。おりんだけが知っているイワナの生息地を嫁に教え、前夜この日の為に用意した一斗の酒をみんなに振る舞い、息子に背負われて出立しゅったつしました。途中白骨がゴロゴロし、死体をついばむカラスの群れに遭遇し、やっと神の山に辿り着きました。孝行息子は泣き泣き下山しますが、途中雪が降りタバを犯して引き返しおりんに告げます。再度下山の途中でしがみつくと父親を谷底に蹴落とし、それを目指してカラスが黒い渦となっていくのを見ます…◆身延到着。翌朝雪でした。

酒は健康のパロメーター

合掌三日から身延釋迦牟尼堂に參籠しておりますが、早々夫婦でダウンしてしまいました。小生は松戸からのぶり返して家内はどうか運転をこなしましたが、ついに発症。熱も出たのでインフルエンザなのでしょう。參詣を予定した方にはご迷惑をおかけしました。三日間は食欲ゼロ、酒も飲む気にもならず、ただ寝ていました。八日には車で下山し御宝前のお供えを買い、どうにか八日の例祭は勤めることが出来ました。味覚はいまいちですがやっとお酒の味が戻ってきました。さて身辺雜記が長くなりましたが、そんな人事に關係なく釋迦牟尼堂台地には着実に春の

息吹が感じられます。フキノトウが沢山採れたのでフキ味噌など冷凍して四月八日の花祭りに皆さんに食べてもらおうと思つています。樹高一メートル未満が五本、合計十一本の梅も順を追つて甘い香りを漂わせています。日中は日差しも強くあたたかいのですが三時を過ぎると急に冷え込み朝起きると氷が張つています。インド発の仏教は酒の害毒が強調されていますが、中国を經由し日本のユルイ風土でいつの間にか仏教徒も酒をたしなむようになりました。小生など「百薬の長」として薬効を楽しんでいきます。酔いが心のはけ口とならぬよう氣をつけてはいますが。

薩摩義士

合掌 春爛漫の候、釋迦牟尼堂の花祭りもおかげさまで満開の桜のもと四十二人の参加者で無事行われました。帰りに足を延ばして犬山城まで行ってきました。桜ごしに見上げると青空に白壁が映えその端正な雄姿は実に美しかったです。登り口に薩摩義士の顕彰碑が有りました。薩摩義士とは江戸幕府に木曾川等の治水工事を命じられ、莫大な資金を費やした責任をとって切腹した薩摩藩家老平田鞆負^{ゆきえ}ら85名のことです。小学生の頃、西郷隆盛が切腹した洞窟と共に顕彰碑をよく清掃させられました。あらためて調べてみました。関ヶ原の戦いで西軍（反徳川）に付いた

薩摩藩でしたが戦後処理で乗り切り存続できましたが、幕府にとつては驚異。その弱体化を図つて当時水害で甚大な被害を与えていた木曾川・長良川・揖斐^ひ川の治水事業を押しつけました。執拗な幕府の嫌がらせで屈辱に耐えかねて抗議割腹する藩士計51名もいました。幕府への批難と取られるのを恐れ、事故死扱いにされました。幕府側も薩摩藩もあまり触れたがらなかつたことでしたが、地元の農民がその功績と悲話を言い伝えて来たのです。後に徳川幕府は主に薩摩藩と長州藩によつて倒され明治維新となるわけですが薩摩義士はどの様な思いだつたのでしょうか。

波木井古道

合掌 青葉若葉の美しい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。さて一日から身延釋迦牟尼堂に参籠し木々の伐採剪定に汗を流してきました。今回は隣接の本妙庵墓地周辺の整備もしました。お墓を覆っていた杉の枝を伐採し根元に積み放しにしていたのを片付け、墓地への旧道に放り投げられたゴミを回収しました。五年後に本妙庵開基本妙日臨和尚の二百遠忌を迎えるのですが、しばらく無住が続く荒れるに任せている状態です。身延参籠中は朝勤の折通気の為、戸を開閉するくらいですが、一部の戸は落っこちそうになつて開閉もままならぬ状態でした。本

山の管轄なので勝手にいじる訳にいかず手を拱いている状態でした。ところが今回戸が修復されていました。地元の依田棟梁が直してくれていたのです。そこで小生もやつと意を決し、出来る範囲で本妙庵周辺を整備し、二百遠忌を迎えようと。車で参詣できるようになり旧道は枝や落葉で覆われ猪に掘り起こされ原野と化しています。先ず先人が歩いて本妙庵へお参りした道を整備しようとコツコツやり始めました。便利になつた反面どれだけ大事なものを失つたのか考えさせられる作業になりそうです。仏道と同じで人が歩かなくなつたらその道は消えてしまうのです。

だい ばしら
大 極 柱

合掌 梅雨晴れの暑い日が続いており
ますが、いかがが過ぎですか。身
延で今月は梅の実採り、竹穂垣造り、
草刈等に汗を流して、松戸で最近案
内が遅れがちを反省しつつパソコン
に向かっています さて、タイトル
の「大極柱」を見て、「大黒柱」の誤
字じゃないかと思われる方もいらつ
しやるかもしれません。たしかに辞
典で「大黒柱」を調べると「一、民
家の土間と床との境の中央に立てる、
特に太い柱。また、建物の中央に最
初に立てる柱。亭主柱。二、家や国
の中心となつて、それを支える人。」
と出ており言葉の由来として一家の
繁栄を願ひ近くに「大黒天」をお祀

りした為とも言われています。しか
し小生は「大極」とは古代中国の「易
経」の万物生成の根源「太極」に通
じ「太極」から「陽」と「陰」・「天」
と「地」に分化し、家屋で言うところ
根が「天」、床が「地」でそれを貫く
のが「大極柱」ではないかと思いま
す。「王」という字が横の三つの線
が「天」「地」「人」を表し、縦の線
が権威を象徴する柱ではないのでし
ょうか。諏訪神社の御柱祭り、出雲
大社の巨大な柱もそのような機能を
象徴していると思われるなりません
現代建築から「大極柱」が喪失し、
それに伴つて「父権」の衰退消失し
てしまったのは考えすぎでしょうか。

先ず国家を祈りて

合掌 台風が過ぎると又暑くなりそうです。久しぶりの案内となりましたが、お変わりなくお過ごしのことと思います。さて北朝鮮のミサイルで私達の「日常」が脅かされています。先日の「Jアラート」では右往左往する始末でした。戦後七十年間は「平和」でした。それは平和憲法のおかげなのか、日米安保条約のおかげなのか、議論の分かれるところです。しかし私達が「平和」を享受している間、北朝鮮は横田めぐみさん達を拉致し、狡猾な外交力によって金品を掠め取り核開発ミサイルの精度を高めてきました。戦前の反省から「平和」の

出来なくなり、「平和」の中にある「戦争」を考える事さえタブー視されて来ました。そのツケが回ってきたようです。日蓮聖人は『立正安国論』で他国の侵略と内乱を予言し、八年後の蒙古の侵略で予言が的中しました。誰よりも先に国家の危機を予感し、その対策を時の政治家達に進言しました。国家の安泰や国民の幸福の指針としては何より佛法が大事であるが、国家存立の危機においては「先ず国家を祈りて、須く佛法を立てなければならぬのです。」「国家」と「佛法」の関係は主従・本末・軽重関係でなく有事においての優先関係で論じなければならぬのです。

『民間防衛』に学ぶ

合掌 清涼の秋氣身にしみてきました。さて国内は「小池旋風」が吹き荒れていますが、お隣の北朝鮮は金王朝の命運をかけてトランプ大統領を挑発し、また日米韓にクサビを打ち込もうと軍事的な恫喝や国内反日勢力とメディアによる謀略戦を繰り広げています。一国民として最悪の事態を想定し何をしたらいいの？ 考えあぐんでいます。そんな折良書にめぐり会いました。スイス政府発行の「民間防衛」です。ご存じの通りスイスは永世中立国です。他国からの軍事的脅威に遭えば同盟国に頼らず自国のみで解決しなければならぬのです。かつてベルギーとルクセンブルクは非武装中立でしたが、両国とも一九四〇年にナチス・ドイツの侵攻を受け、国土は占領されました。スイスは徹底した武装中立を目指しました。「民間防衛」には戦争の危機に際しての心構えや具体的に食料品の貯蔵、民間の自衛・防災組織の構築、敵国の攻撃によつて起こる被害、核兵器や化学兵器への対策、果ては敵国のプロパガンダやスパイに対する対策まで解説されています。しかし何と言つても見習うべき点は自国の独立と自由を守り抜く国防意識の高さです。日蓮聖人「蒙古使御書」に曰く、「一切の大事の中に国の亡びるが第一の大事にて候」

指導死？

合掌 時候の挨拶も考え込んでしまう程不順な時節。皆様如何お過ごしでしょうか さて暗いニュースが続くなか又目にしました。「指導死 教室を地獄にしない」朝日の社説です。教師のいきすぎた指導が生徒を死に追いやる。遺族たちはそれを「指導死」と呼ぶ。とあります。ついに教育の荒廃はここまで来てしまったのでしょうか 本来「指導」と言う言葉には尊敬、規範、教育という「先生」に込められた属性があつたはずです。間違つても「死」と結びつくはずはありません。遺族の心情によつて造語されたとしても言いようのない違和感を感じます。子供を死に追いやつた先生を「死導師」と言いたいのでしょうか 記事には「自死」という言葉が使われていました。「自殺」と言う言葉を慎重に避けたのでしよう。当人の選んだ「死」もそれぞれ事情があり厳粛に受けとめなければならぬのですが、その行為の中には殺される本人の「いのち」とその「いのち」を殺す本人が同居しているのです。言わば加害者と被害者が同居しているのです 日頃靈供養に携わつている身としては、「いのち」を越える至高の「いのち」に気付き社説の文句を借りれば生前の教室の地獄から早く解放され、安らかな世界にと祈らずにはいられません。

ペット供養

合掌 錦秋の候、早十二月の御案内となりました 十五日は動物供養です。懺悔の一環として因縁の動物の供養を行うのですが、最近ペットの葬儀やお骨の処遇についていろいろ耳にするのでこの際考えてみたいと思います 家族同様或いは伴侶のように可愛がっていたペット(失礼)を、お骨になっても何時までもそばに置きたい、死んでもからも姑と一緒にイヤで、又夫でなく愛する ちゃん

を考えた場合お骨は人間同様、土に返すべきです。人間同様「たましい」に魂と魄があり魄は大地の「気」に依って作られた体に宿り、死後はその大地に還るべきであり帰すべきです 可愛がれば可愛がれるほど犬や猫、特に猫は自分が人間と同じと思いがちになり、死んでも愛情を要求するようです。動物供養の回向文に「汝是畜生発菩提心」(畜生であることを自覚して菩提心を起こしなさい)とあります。お釈迦様の慈悲は衆生(動物を含む)にはあまなく平等ですが、成仏のプロセスには差別があります。現世だけでなく三世に亘る愛情を注いだら如何でしょうか。

「町民」「県民」「国民」

合掌 梅のつぼみがほころび、春の訪れが待ち遠しくなってきました。如
何お過ごしでしょうか さて私も七十歳を迎え、最近の心境を含め人生を振り返ってみたいと思いますので少しお付き合いですまい 私が生まれ
た昭和二十三年当時、与論は沖縄と共にGHQが定めた日本の範囲から除かれ、米軍政下に置かれていました。二歳の時、母と監視の目をくぐり波濤を越え本土（鹿児島）に着岸。サツカー一途の少年時代を過ごし青雲の志を抱いて（？）高校一年の秋上京し、伯父宅から高校へ編入。伯父の本棚の小林秀雄の『考えるヒント』を読み、取りあえず小林秀雄の本を読むために大学入学。間借りした所が日蓮宗のお寺でその縁で日高白象上人にめぐり会い仏門に入る
それから自分なりに僧侶として生きてきたつもりですが、最近やっと『立正安国論』が解るようになって違う視点で振り返るようになりました。国家とは？という難問の答えとして日本国民としての自覚の過程、言葉を変えると自分の中の『日本』の発見です それは与論町出身「与論町民」から鹿児島育ちの「鹿児島県民」今は与論出身鹿児島育ち松戸在住の「日本国民」です。以前は日本国出身の地球人たらんと「日本国民」の自覚が希薄だった気がします。

「男は死ぬまで働け」

合掌 寒気に耐えた梅のツボミがやつと開き芳香を放っています。さてテレビ「金スマ」で昨年十二月妻を亡くした野球評論家野村克也さんが出ていました。長年連れ添った妻の突然の死からまだ四ヶ月足らず。生前同番組に二人で出演された映像を振り返る追悼の番組でした。妻の沙知代さんは正直言つて厚めの化粧でどこを見ているのか焦点の定まらない上から目線の物言いに親しみは感じられませんでした。著作タイトルも『猛母猛妻』『悪妻こそ、良妻』『夫の転がし方』等々。番組中にもこの八ガキのタイトル「男は死ぬまで働け」の暴言？迷言、奇言の数々。しかし表面的な言葉尻では解らない夫婦の深い愛情が有ったようです。キャッチャーながら三冠王まで取り、監督としてヤクルト黄金時代を築き上げた名将野村克也への内助の功はたいしたものですよ。半面様々な騒動を起こし、自分の「履歴は全部ウソでした」と告白。それを野村さんは「ウソをついてでも自分と結婚したかったのだらう。愛情の変換でそうなったんじゃないのかな」とドンと受けとめ 人生の癖球しか投げない投手沙知代を失った捕手野村はこれからどうやって生きていくのだらう。

明日死ぬかのように生きよ

合掌 桜も早満開、お元気でお過ごしのことと存じます。さて当初北朝鮮の横槍ならぬミサイルでどうなることか心配していたピョンチャンオリンピックも無事に終わりました。熱い選手達の活躍や、華やかな北朝鮮の美女軍団のショーの裏では南北の対話の準備が着実に進められ、政治満載のピョンチャンオリンピックであった側面も否めません。それはさておき、日本勢が獲得したメダルは金4、銀5、銅4の計13個で、冬季では1998年の長野大会の10個を超えて1大会最多とのこと。その活躍ぶりの報道で私が着目したのは女子五ヶ^んでオリンピック新記録を出し

て金と千ヶ^んで銀の二つのメダルを獲得した小平奈緒選手でした。座右の銘が「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。」インド独立の父マハトマ・ガンジーの言葉だそうです。この銘のもとに日々練習努力の結果の偉業。頭が下がります。七〇を迎える私にとっても頂門の一針です。明日どこか永遠に生きるかのように生き、「つひに行く道とはかねて聞きしかど昨日今日とは思はざりしを」と、慌^{あわ}て落ち込むのが凡夫の常。いろいろやるべきことはあります。終活も含めて。永遠に生きるかのように学べ。こちらは励みになります。ポケ防止も兼ねて。

「心の財」を積むこと発見すること

合掌 青葉若葉の良い季節となりまして、さて日蓮聖人の四条金吾さんへのお手紙の一節に「蔵の宝よりも身の財たからすくれたり。身の財たからより心の財たから第一なり」とあります。私達がよく良く生きていく為の「蔵」と「身」と「心」の優先順位を説かれ、そして「この御文を御覧あらんよりは心の財を積ませたもうべし」と続きます。崇峻天皇が蘇我馬子に殺された故事を引き、一時的な感情に任せて物を言わないようにと忠告され、具体的に「心の財」を積むとは孔子の「九思一言くしゅういっごん（九回考えてから一言を発する）」や法華經の常不輕菩薩が全てのの人々を礼拝した振る舞いを思い起こしなさいと結ばれています。あらためて考えてみると「蔵」と「身」と「心」の追求過程は人間の成長や日本の戦後の歴史でも言えることです。安全保障は米国任せで、先ずひたすら「蔵」の経済成長をめざし、働き過ぎて「身」の大事さに気付き健康志向に、やっと「心の時代」と言いつつ「心の財」までたどり着かない。「心の財」は先賢の叡智が古典として歴史に金鉱の如く内蔵されています。それを先ず発見することです。時代を経て言葉が難しいと言っても同じ日本語です。諦めてはせつかく宝の山を前にして手ぶらで帰るようなもので、それこそ勿体ない。

『本来...』を見直す

合掌 まもなく梅雨。暑い日が続いて
おりますが、いかがお過ごしですか
さて五月二十八日の毎日新聞に自
民党の萩生田光一幹事長代行の講演
会の発言―「言葉の上で『男女共同
参画社会だ』『男も育児だ』と格好い
いことを言っても、子供には迷惑な
話だ。子供がお母さんと一緒にいら
れるような環境が必要だ。―に對し
て「父子家庭への配慮欠如」と批判
記事が載っていました 確かにやむ
を得ないそれぞれの事情で「父子家
庭」で子育てに頑張っているお父さ
んには「迷惑」は「心ない言葉」か
もしれません。しかし「(本来)子供
がお母さんと一緒にいられるような
環境が必要だ」は真つ当な意見です。
本来家庭とは母親・父親の役割分担
制で「男女共同参画」して育児する
ところであつて、男女平等の名の下
に全て二分の一に出来るものではな
いはず 「父子家庭」「母子家庭」で
母親・父親両方をやらなくてはいけ
ない家庭は別にして本来父親・母親
代置不可能な部分があるはず。「父親
らしい母親」や「母親らしい父親」
単なる形容詞ならまだまし。「多様性」
の名の下に「性」の混乱社会の到来
「本来どうあつたか」を今までの
慣習文化歴史から考え直し、「本来ど
うあるべきか」そのギャップを修正
か尊重か叡智が求められています。

みけんびやくごうそう
眉間白毫相

合掌連日、熱中症警戒注意報が流れていきます。まだまだ暑い日が続きます。うです。くれぐれも気をつけて下さい。さて久しぶりのお便りとなりましたが、NHK番組「チコちゃんに叱られる！」ご存知でしょうか。コンピュータで処理した表情豊かな着ぐるみの五歳の女の子が私達が日常何となく使っている言葉の意味を問うクイズ形式の番組です。その口達者と悪さで思わず笑ってしまいました。あらためて問われると何故？答えられないと「ボーっと生きてんじやねーよ！」と一喝されます。先日番組で「仏様の眉間のポツン」と出ているのは何？」正解は「白毫びやくごうとい

つて、白い毛が一丈五尺（四、五メートル）もあり右めぐりに巻きついていて佛様の三十二の身体的特徴の一つです。」法華経ではそこから光が放たれ世界を照らします。白毫は偶然そういう形になったのではなく過去の菩薩行の結果なのです。衆生が修行に励むのを讃嘆して、修行を妨げるものから守った功德の結果なのです。三十二の一つ一つにそれぞれ菩薩行があり佛様の身体は言わば修行によって作り上げた身体なのです。身体は心によっても作られるものなのでですね。暑さか歳のせいかチコちゃんに「ボーっと生きてんじやねーよ！」と叱られないよう頑張りましょう。

貴乃花親方引退に思う

合掌 相次ぐ台風が日本列島を吹き荒れました。身延に居るはずが松戸で当八ガキを書いています。釋迦牟尼堂までの山道が倒木や枝葉で散乱し車で上れないとの連絡で様子見の状態です。さて相撲協会に改革の風穴を開けようとした貴乃花がついに引退しました。「弟子の貴ノ岩関に対する元横綱日馬富士の傷害事件を巡り、内閣府に提出した告発状（後取り下げ）の内容が事実無根であると認めるよう協会役員から要請され、拒めば親方を辞めなければならぬ」と言われたことなどを退職の理由だそうです。そうであれば典型的な「パワハラ」今後も追求していかなければならない大問題です。協会側の言い分もあるでしょうが、信念を通し手塩にかけた弟子達の事を案じ、引退せざるを得なかったまでに追いこんだのは事実。只強いだけで風格に欠け、「相撲術」にだけ長けている力士がおおい昨今、国技として相撲はどうあるべきか、真の相撲道の普及に務めてきた人材だけに惜しまれてなりません。貴乃花親方の性格や孤高な生き方もあるでしょうが、協会側ももつと柔軟に対応できなかつたのか。所詮（恩師曰く）「組織の中に道心なし。道心の中に組織あり。」角界を離れ新しい土俵で相撲道を弘め育成に努めてもらいたいものです。

私の“幸せの場所”

合掌 秋冷の候、皆様如何お過ごしでしょうか さて毎朝テレビ体操をしてから朝勤ですが、今朝体操を終えるところリンクを背にしたフィギュアスケーター浅田真央さんが出ていました。テロップに「私の“幸せの場所”とあり、引退してからも各地でアイスショーを披露しているのでリンクこそ「私の“幸せの場所”」と云いたいんだらうなと勝手に思いつつ、御宝前に向かいました スポーツや芸能の世界ではリンクや舞台が自分の夢の実現の場所であり「幸せの場所」と感じる人はごく一部でしょう。夢破れ失意のうちに去って行く人も多いはず。一般の人でも自分の仕事を天職と思っている人は別ですが、たいていの人は仕事場は単なる労働の場であり、賃金に還元すべきものと考えているようです “幸せ”は人それぞれでしょう。若いときは“幸せ”へのハードルは高く、歳をとると色々な苦労病気肉親との離別を経験したおかげか何気ない日常がありがたく、ハードルがぐつと低くなるような気がします 日蓮聖人は究極の“幸せの場所”を何処でも誰でも感じる事が出来るようにと御生涯を送られました。勿論それはお題目と本佛お釈迦様抜きではありえません。経に曰く「まさに知るべし。この所は即ちこれ道場なり」

宝祚長久

合掌 向寒の候、如何お過ごしですか
 平成三十年も残り少なくなり、来年は新天皇をお迎えし新しい元号となります。皇位継承に関するマスコミの報道で気になることがあります。先ず用語です。なぜ「讓位」でなく「退位」なのか 皇位継承式を「**踐祚**の儀」と言い「**踐**」とは位に就くと、「**祚**」は天子の位を意味します。天皇が崩御した場合の踐祚を「**諒闇踐祚**」。今上天皇が讓位する場合は「**受禪踐祚**」と言います 卑近な例で畏れ多いですが、住職継承式は現住職が御宝前で新住職に**扨子**を渡し、住職の位を譲り退任する同じ日の法要です。しかし皇位継承は四月三十

日に退位式典、五月一日新天皇即位式典となると三十日に一旦皇統が途絶え「讓位」になりません もともと「退位」は昭和天皇の戦争責任追求の左翼用語です。毎朝勤行で「今上天皇 宝祚長久」の祈念文を唱える国民の一人としても何か腑に落ちません もう一つ「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」の「天皇の公務」の用法です。天皇陛下の聖性保持は祭祀・儀式を最優先すべきであり、次に憲法第七条の国事行為、そしてその他諸々を公務という言い方は、公務員レベルに**貶める**ものであつて又そのことは陛下御自身がお決めになることで、たとえ内閣と雖も干渉してはいけないものです。

アシヨカ王ほうちよくひぶん法勅碑文

合掌 梅がほころび、芳香を放つてい
ます。如何お過ごしでしょうか。さ
て先日松戸道場に掲げられている扁
額について質問がありました。扁額
はお釈迦様の生地ルンビニー園にア
シヨカ王が建てた塔に刻まれていた
碑文の拓本を表装したものです。大
体の意味はアシヨカ王来由と釈尊生
誕の地であるから住民に税を優遇す
るということです。アシヨカ王とは
釈尊滅後百年頃インド大帝国を築い
た王様です。当然武力制圧によつて
累々たる屍の上でのインド統一でし
た。その事を懺悔し、仏教に帰依し
てからは武力によらず「法(ダルマ)」
に依つて統治することとインド各地

に法勅を刻み、又仏舎利塔や釈尊の
聖跡の顕彰のために石柱を建てまし
た。アシヨカ王の釈尊追慕の念は深
く、ついに釈尊生前のことを知つて
いる人にどうしても逢いたいと、捜
す事になりました。何とハシノク王
の妹で百三十歳のお婆さんがいまし
た。お婆さんの話からアシヨカ王は
まさしく生きているお釈迦様に面奉
している感激を味わつたことでは
う。松戸道場の扁額(釈尊生誕碑文)
の横には苦行の釈尊像の額もありま
す。ということは釈尊聖誕・修行そし
て神力品教示のこの所は即ち是れ道
場なり。成道・常説法・涅槃の御一代
顕現の道場ということになりますか。

歴代力

合掌 寒気もゆるみ木々の芽もふくらんできました。お変わりなくお過ごしのことと思います。さて荒行の帰山式に行つてきました。久しぶりに行僧さんの気迫のこもった読経祈祷に身が引き締まる思いでした。小さいときから知つているし、初行に入る前に毎月身延の釋迦牟尼堂でしばらく一緒にお経をあげただけに「あのちゃんが再行成満ねー」と感慨も、ひとしおでした。私が荒行に入ったのはもう三十七年も前ですが朝勤の先師回向の時、彼のひいお爺さんの名を耳にし、「伝統」の凄さに感銘しました。そのひいお爺さんの代から親子三代で通算五百日の荒行進を祈りつつ、祝宴を後にしました。

です。その荒行を支えてきた今は亡き歴代の総代さん達の顔も浮かび、みんな喜んでいようでした。以前私は離島在家出身ということもあり、いわゆる「世襲」という住職継承を否定的に捉えていました。しかし日本風の風土に定着したシステムと思うようになりました。大袈裟にいうとお寺は国家の中間組織として地縁・血縁・法縁によって築かれた共同体であり、世襲は檀家と共に先祖の築きあげた叡智を子孫へ伝えていく確かな伝承法だと思つたのです。「歴代力」に感謝しつつ、檀家さんにとつてお寺へのお参りが楽しみになるよう精進を祈りつつ、祝宴を後にしました。

合掌花便りにうきうきする季節となりました。お元氣でお過ごしのことと存じます。さて毎月市川真間山弘法寺で修法勉強会の講師をやっていますが、今月は守護神シリーズ「普賢三宝大荒神」でした。毎年暮れに紙札で授与している台所の火と水を司る神様です。幣束や紙札では他の神様では使わない黄色と赤色と水色の三色の色紙を使っています。火（赤）をカマド（黄）と水で挟んで火をコントロールしている状態を表しているのです。今や火はガスにしろ石油にしろツマミひとつでコントロール出来ます。しかも防火対策もあって料理はIHヒーターに取って代わる

うとしています。身の回りから火が消えつつあります。本来火は暖房・調理・照明に使っていました。困炉裏はこの三つを効率よく機能させていました。原子力発電という石油や石炭の火を使わない核分裂による莫大なエネルギーによって電気を起こし、その電気によって照明は勿論暖房もそしてついに調理まで支配するようになつてきました。火の行き場を失いつつある荒神さんの事を思い身延で焚き火の炎のゆらめきや香りそしてパチパチの音に耳を澄まし、熾きの放つ遠赤外線に身を暖めながら、ささやかながら火の暖房・調理・照明の復権を図りたいと思います。

長寿と風

合掌 青葉若葉の清々しい季節となり
ました。改元を身延で迎え草刈り剪
定等、山内整備に追われすつかり道
場便りも遅れてしまいました。さて
某テレビで長寿と風の関係を報じて
いました。ヨーロッパのある村は年
中風が吹いていて長寿の人が多く又
沖繩の離島（名前失念）も海風が強
くやはり長寿の人が多いそうです
大体長寿の要素として食べ物や運動、
規則正しい生活そしてストレスもな
く前向きに好奇心を持つとか精神的
な関係で論じられるのですが「風」
に着目したところが意外でした。風
によって空気中の汚染物質やウイル
スや細菌まで吹き飛ばしてくれるの
だそうです。そのせいか、感染症も
少ないとのこと。確かに都会では中
国からの「PM2.5」をはじめ様々な
汚染物質が流入しています。建築物
が多く風通しも悪いため病原菌も充
満停滞しているのでしょうか。手洗い
うがいマスクなどで個人的に防御す
るしかありません。ところが自然環
境に恵まれたところでは風が一扫し
てくれるのです。小生が平成十七年
にホームページを開設した時「鷲峰
の風」と名づけたのも釋迦牟尼堂・
鷲峰苑が靈山の風光を彷彿させ、そ
の爽やかな風や時には心のゴミやほ
こりを払う風を皆様にお届けしたい
というささやかな祈りを込めました。

天狗の花見

合掌 梅雨の合間の青空に真夏の酷暑が思いやられます。さて今月も九日間釋迦牟尼堂に参籠しました。先月刈ったばかりの草がもう伸びており晴れ間に草刈り三昧、そして梅の実を採取、約十三キロでした。梅ジューズと昔ながらの酸っぱい梅干しになる予定。山道の木々も年々生い茂り、去年は台風で倒木も有り、木を点検し伐採しなければなりません。足場や周りの状況によっては確実に一定の方向に倒さなければなりません。かなり高度な技術を要します。そこで地元のYさんに依頼しました。以前釋迦牟尼堂南側の杉や横のケヤキの大き木を電線に架からず倒すその腕前に驚嘆したことがあります。そのYさんが下見を兼ねてやって来ました。驚くべき記憶力で近隣の神様やお祭りの由来、住民の先祖や人間関係など初めて聞くことでビックリ。そして五歳の時、桜の枝を切ったところそれ以来体調不順になり、靈能者に見てもらったらその枝は丁度天狗さんが花見をしていたのこのと。爾来伐採の前には必ずお経をあげています。古い樹はご神木とはとまでは言えないにしろ天狗などの異類の依り代になっているかも知れません。お勤めの時、山神を勧請していますが、身延山の天狗由来の妙法兩大善神も勧請することにしました。

身延山久遠寺の「共栄運動」

合掌 台風一過、酷暑再襲来。くれぐれもお体に気をつけて下さい。さて久しぶりのお便りとなりましたが、日蓮宗新聞の一面をご紹介します。身延山久遠寺が「共に生き、共に栄える」のスローガンのもとに共栄運動を発足し、基本方針として「**祖山諸関係機関信仰に裏打ちされた教育・医療・福祉を提供する**」「**山内支院・地域・門前町・身延町等地元自治体と諸問題を共有し解決を図る**」「**日蓮門下諸宗・題目系教団と共に栄える積極的な交流と連帯を目指し、祖山の資源の有効活用をすすめる**」「**檀信徒と共に栄える祖山総登詣を通じて、次世代への信仰継承を促す**」「**寺院・教会・結社と共に栄える次世代の法器養成を目指す**」「**宗門と共に栄える宗門運動と連携し 共栄運動を恒久的な信仰運動とする**」「**世界・日本の仏教徒と共に栄える**……」「**世界・日本と共に栄えるあらゆる手段を用いて 共生共栄 の理念を世界中に発信する**」 原文はお題目を中心として同心円で空間的広がりで円形に表されています。地元から宗門・他教団・世界へと発信する抱負と立正安国・世界平和への目標は大いに結構なことですが、気になるのは用語です。「**祖山の資源の有効活用**」「**あらゆる手段**」お題目が 共生共栄 の単なる手段に成ることなのか。

財布拾得者へのお礼

合掌 秋冷の候、皆様如何お過ごしでしょうか。さて先日財布を落としてしまいました。料理屋さんで会食した時のことです。いざ帰ろうとする時気づきました。どうやら来るときタクシーの助手席で大きな荷物を抱えて料金を払い、ポケットに入れたつもりだったのですが、その後のようです。早速タクシー会社に連絡しましたが無いとのこと。翌日交番に電話したら情報をパソコンに入力するので二〇分位かかると、電話の奥のポチポチとキーボードの音を聞きながら財布の形状、中身などを答えました。半ば諦めていましたが、警察から該当する財布があるので市川警察署に取りに来るようにとの電話がありました。ラッキー。お礼の心づもりもしながら受け取りに行くと、拾ってくれた方の伝言でお礼は無用と、じゃーせめて感謝の葉書でも住所を尋ねたところ、個人情報はお伝えたことでした。直接相手が「お礼の気持ち」をどうしようかと考えていたらフト「この世は恩と恩との交換市場」という言葉が浮かんできました。世の中は世知辛い半面、財布を無事届けてくれた恩をはじめ様々な恩が飛びかっているはずですよ。縁を大事にしてこの恩の交換市場の参入拡大に精進したいものです。